

令和7年度マイスター・ハイスクール普及促進事業 成果発表会

熊本県版マイスター・ハイスクールによる持続可能な産業人材の育成
～自律的に学ぶ生徒を育てるための学校と産業界の絶え間ない協働～



拠点校：八代工業高等学校・玉名工業高等学校・阿蘇中央高等学校・天草工業高等学校
管理機関：熊本県教育委員会・熊本県商工労働部

熊本県版マイスター・ハイスクール

熊本県版マイスター・ハイスクール（普及促進事業）

熊本県版マイスター・ハイスクールによる持続可能な産業人材の育成
 ～自律的に学ぶ生徒を育てるための学校と産業界の絶え間ない協働～

管理機関

産業実務家教員の派遣（授業・実習）

管理機関は県域の産官学金との共通理解を醸成し、
円滑な取り組みの基盤を作る取組

熊本県商工労働部

肥後銀行

地域企業・団体

産業実務家教員企業

事業運営委員会

（年2回）

事業実施の意思決定、「マイスター・ハイスクール」のビジョン策定、
熊本県の産業教育の在り方について

- 熊本県教育長(学校設置者)
- 熊本県商工労働部長(地方自治体)
- 熊本県産業政策名誉顧問 村山 伸樹(産業政策)
- 一般社団法人熊本県情報サービス産業協会 豊住 周二 (産業界)
- 肥後銀行頭取 笠原 慶久(地方創生)
- 一般社団法人熊本県工業連合会 宮村 宜明(産業界)
- 熊本大学工学部教授 連川 貞弘 (産学連携)
- 熊本大学教育学部准教授 高崎 文子(評価検証)
- 武蔵野美術大学造形構想学部教授 若杉 浩一(STEAM)
- 各拠点校長

学校と基礎自治体、地域の産官学金は
連携した人材育成の取組

ニーズの把握 ↓ 依頼・調整
 産学連携コーディネータ
 高校教育課
 ↑ 依頼・調整
 ニーズの把握

育成すべき資質・能力を
共有した上での連携

事業推進委員会

（年3回）

事業実施の具体的手法等について検証、改善、課題解決

- 一般社団法人熊本県情報サービス協会 事務局長
- 肥後銀行 地域振興部長
- 一般社団法人熊本県工業連合会 事務局長
- 熊本大学 工学部長(高等教育機関)
- 熊本県教育庁 県立学校教育局 高校教育課長
- 熊本県商工労働部 産業振興局 産業支援課長
- 拠点校 立地市町村 関係課長
- 産業実務家教員・協力企業代表
- 各拠点校長、研究主査・副主査、学科主任等

学校

八代工業高校

拠点校
4校

玉名工業高校

天草工業高校

阿蘇中央高校(農業・商業・福祉・普通)

学校は校長のマネジメントのもと、
組織的に地域と連携した取組の推進

助言・承認

各学校が設置 カハウの共有・助言

校内運営委員会

育成すべき資質・能力の明確化
連携内容・方法の協議、評価、改善 等

産業実務家教員による授業の実施、企業実習・企業見学
市町村教育委員会との連携による中学校への出前授業など

各学校で活用

学校運営協議会

市町村単位の持続的・自律的な取組に向けて

CEOの果たしてきた役割（機能）を分割・階層化し、連携にかかる負担を軽減 → 持続可能な産業人材育成エコシステムの構築

つなぐ

産官学金との連携プラットフォームの構築

持続性があり、広がりのある繋がりにする

学校と企業・団体とのマッチング

県教委・県商工労働部
市町村・肥後銀行・情産協・工連

県教委・県商工労働部
産学連携コーディネーター
市町村・肥後銀行・情産協・工連
地域の経済団体等・学校

進める

産業界との対話をとおした育成すべき資質・能力の再定義

学校の取組みの方向付け・持続化に向けた組織化

産業界との協働によるカリキュラムの刷新

学校と産業実務家教員・市町村・連携企業等

学科（教科担当）と産業実務家教員と連携した取組

企業の技術者による授業・実習

企業における体験型の実習

産官学連携した探究型の学び

市町村単位の持続的・自律的な取組に向けて

八代市

先導校 八代工業高等学校

インテリア科：(3年)BIM基礎講習・設計課題、(2年)2次元CADとBIM(1年)建設DX講話
 機械科：(3年)専科コース制実習を進路に則した内容に変更
 (2年)工場見学等(1年)産業ロボット講義
 工業化学科：(3年)課題研究(2年)コンピューティング技術・AI活用
 (1年)IT技術活用等
 電気科：(3年)KYT実習・課題研究(ネットワーク構築)(2年)企業視察等
 (1年)「工業情報数理」講義
 情報技術科：(3年)プレゼンテーション実習、(2年)RPA実習(1年)IoT・OS・
 ネットワーク実習



玉名工業高等学校

機械科：3次元CADによる板金機能の習得等、半導体実技研修
 アルミニウム板のスプーンの製作・研磨
 電気科：電気通信工事講義、通信ケーブル接続体験実習
 電子科：Google Apps Scriptによるアプリ開発
 工業化学科：工場見学・次年度に向けての連携構築
 土木科：校内特別実習によるコンクリート打ち



玉名市

地域企業

地域企業

産学官金連携
エコシステム

産学官金連携
エコシステム

県内企業

県内企業

肥後銀行
八代支店

肥後銀行
玉名支店

産業界と学校が自律的・持続的に連携する仕組みづくり

天草市

天草工業高等学校

機械科：企業インターンシップ・事後学習にて出前授業活用
 電気科：ケーブル接続、防雨処理及びLED設置実習
 危険予知訓練(KYT)
 土木科：ドローン講習、実技講習、「現況平面図」を作成
 コンクリート舗装実習、測量設計最新機器講習
 情報技術科：CG制作実習(天草市連携協定による講師派遣)



阿蘇中央高等学校

総合ビジネス科：科目「ソフトウェア活用」の協働授業
 プログラミング的思考やデザイン思考の習得
 農業食品科：スマート農機実習・スマート畜産の学習
 グリーン環境科：ソフトを活用した防災・まちづくり設計
 社会福祉科：介護ロボットによるスマートふくし連携授業
 普通科：次年度に向けての連携構築



阿蘇市

地域企業

地域企業

産学官金連携
エコシステム

産学官金連携
エコシステム

県内企業

県内企業

肥後銀行
天草支店

肥後銀行
宮地支店

汎用性の高い活用可能な好事例を普及し他校での展開を図る

県内すべての高校(専門高校・普通高校)への普及

産業界・地域と人材育成をともに考える・実践する

本年度の重点的な取組

本年度の重点的な取組

令和6年度の成果と課題を踏まえ以下の3点を設定

連携プラットフォームに関する取組

関係する各機関がプラットフォームに関する共通した認識を持つとともに、各機関の役割が明確になることで、本取組が円滑に運営されるよう取り組む。

広報・普及促進に関する取組

マイスター・ハイスクール事業の認知度を上げることで、潜在的に高校との連携を希望している企業とのマッチングが進むよう取り組む。

連携した学びの推進に関する取組

本取組を校務分掌に位置付けるとともに、学校の共通教科を含む全ての教職員の共通理解のもとで学校組織としての持続的・自律的な取組を進める。

重点的な取組の実現に向けて（第1回事業推進委員会）

重点的な取組の実現に向けて、事業推進委員会で分科会を実施

連携プラットフォームに関する取組

分科会での委員の主な意見

- 取組の推進のためにもプラットフォームは必要
- 市町村単位のプラットフォームを作るのも一つ的手段
- 県域の持続的な展開となると、旗振りを誰がやるのかは大きな課題
- 企業が参加する場合は、時間面、費用面の負担が現実問題として、大きな課題となる
- 一方で、生徒の幸せな人生の実現の要はキャリア教育で産官学金との連携は欠かせない
- 持続的なプラットフォームの構築には、産官学金が相互に尊重し合うことが不可欠で、ビジョンを共有し、相互に対話を重ねていくことが必要

重点的な取組の実現に向けて（第1回事業推進委員会）

重点的な取組の実現に向けて、事業推進委員会で分科会を実施

広報・普及促進に関する取組

分科会での委員の主な意見

- 学校だけでなく、地域・企業・産業界と連携した人材育成は必要
- 学科を問わず生徒の選択の幅が広がるとともに、ミスマッチ防止に繋がる
- 取り組みを可視化して企業・学校双方に共有することで浸透するのではないか
- 情報発信の強化でブランド化、認知の拡大が期待される
- 一律全校展開は、理念が薄まってしまうのではないか
- 産学官金を繋ぐ連携スキームが出来上がるのか不安
- 事業を拡大した際に、産業界側の負担が大きくなるのではないか
- 保護者への周知が不十分ではないか

重点的な取組の実現に向けて（第1回事業推進委員会）

重点的な取組の実現に向けて、事業推進委員会で分科会を実施

連携した学びの推進に関する取組

分科会での委員の主な意見（組織運営）

- 長く続けるためには仕組みづくりが大事。
- このような協議を重ねる機会は必要。
- 学校によっては地域性により、オンライン等を使って実施も検討すべき。
- 企業と先生方が一緒に作り上げることが大事。
- お金やそれ以外の何かを見つけたい。
- 産学官金の情報交換の機会を早めに多く持ちたい。

重点的な取組の実現に向けて（第1回事業推進委員会）

重点的な取組の実現に向けて、事業推進委員会で分科会を実施

連携した学びの推進に関する取組

分科会での委員の主な意見（授業連携）

- 地域や企業との連携をとおして生徒の変化が見えて効果を感じている。
- 学校では職員の意識の差があり、職員向けの周知の機会が必要。
- 学校と企業との授業や連携後の振り返りの機会が大切。
- 目的やゴール、方向性を学校と企業が遠慮せずに言い合える関係が理想。
（丸投げ×・双方でコミュニケーションをとっていく）
- 意欲が高い生徒たち向けの合同授業などを開催しても面白い。
- 単に授業を教えるのではなく、「授業をとおして子どもたちに伝えたいことは何か」を学校と企業で共有することも大切。

本年度の取組の例

本年度の取組（連携プラットフォーム）

県域の産業団体への訪問及び説明及び意見交換

地銀の本店及び各支店長への説明及び意見交換

拠点校の立地する基礎自治体との意見交換

令和8年度以降の継続に必要な所要予算の要求（要求中）

本年度の取組（広報・普及促進に関する取組）

県立高校学びの祭典での生徒発表（5,400人/一般3,450人）

ブライト企業制度の評価項目への組み込みの検討

マイスター・ハイスクールシンポジウムの実施（予定）

連携産業団体へのアンケートの実施・分析及び施策検討

本年度の取組（連携した学びの推進（組織運営））

拠点校における全教職員対象の研修会の実施

学校訪問による管理職・事業主査への説明・意見交換

校長によるマネジメント（ビジョン・教育目標・校務分掌）

本年度の取組（連携した学びの推進（授業推進））

先導校・拠点校の連携授業見学の機会の創出

専門学科を対象とした研修及び実践事例等の紹介

各拠点校のビジョンに基づいた取組

連携授業見学（兼 第2回事業推進委員会）

- (1) 期 間 令和7年10月～12月
- (2) 参加者 事業推進委員、事業運営委員、連携先企業、拠点校教職員、管理機関
- (3) 内 容 講話、授業参観、意見交換等
- (4) 授業者 九州デジタルソリューションズ株式会社 中田 桃愛 氏
九州金剛株式会社 大野 弘貴 氏

八代工業高校



電気科×九州デジタルソリューションズ

玉名工業高校



機械科×金剛株式会社

連携授業見学（兼 第2回事業推進委員会）

- (1) 期 間 令和7年10月～12月
- (2) 参加者 事業推進委員、事業運営委員、連携先企業、拠点校教職員、管理機関
- (3) 内 容 講話、授業参観、意見交換等
- (4) 授業者 九州中央リハビリテーション学院 柿下 耕一 氏
株式会社D-HORIZON 重岡 浩美 氏
一般社団法人熊本県天草地区建設業協会 岡野 幹大 氏

阿蘇中央高校



探究科×九州中央リハビリテーション学院
総合ビジネス科×株式会社D-HORIZON

天草工業高校



土木科×一般社団法人熊本県天草地区建設業協会

各学校の取組

八代工業高等学校の取組

学校教育目標

各種先端デジタル技術を習得し、自ら考え、課題解決に取り組む創造的エンジニアの育成を目指す。
生徒が高い志と夢を持ち自己実現が図れる実践的なキャリア教育を推進する。
県内産業・地域社会とともに、DX社会に対応できる力を育む。

育成したい資質・能力

コミュニケーションスキル
他者の話を聴く（傾聴）、自身の考えを伝える（自己表現力）、自分らしさを表現、他者とのよりよい関係、協働・協力、豊かな言語力

チャレンジ精神
あきらめない、学びに向かう力、自主性、主体性、向上心、意欲、学びに魅力を感じる

創造力
課題発見・解決力、論理的思考力、調査力・考察力・分析力、発想力、ものごとを横断的に捉える力、計画・段取り力



MHS運営委員会
CEOによるマネジメント

熊本版MHS事業運営委員会・事業推進委員会

産業実務家教員（企業）と工業科職員との対話による授業・実習の実践

校内組織

実行(D)

企業と連携した授業等の実践
マスターの日

- ・MHS年間実施計画の立案
- ・教育課程の立案
- ・指導内容計画（シラバス）の立案

- ・産業実務家授業
- ・出前授業
- ・企業実習（MHS型インターンシップ）
- ・産業講話（3回/年）
- ・企業視察・学校視察（2回/年）
- ・工業科教員企業研修（1回/年）
- ・校内運営委員会（2回/月）

計画(P)

学校教育基本方針
MHS年間実施計画

校長のリーダーシップ

- ・進捗状況の確認
- ・成果と課題の検討
- ・事業評価等分析
- ・改善案の立案
- ・教育課程の検討
- ・指導内容（シラバス）の検討

評価(C)

成果と課題の把握のためのアンケート

- ・事業評価（生徒、教職員：3回/年）（企業：1回/年）
- ・新入生アンケート
- ・各学科の取組評価（取組ごと）
- ・卒業生の追跡調査（卒業後1年間）

成果の
アウトプット

企業・地域の
ニーズ及び期待

学校及び社会の
課題

改善(A)

MHS校内運営委員会

八代工業高等学校の取組

本事業のノウハウが生んだ事例とシステム化

具体的な成功事例



八代工高生 知識生かし指導

電気科：八工発電子工作キット

背景：技術教員不在の中学校への支援と。高価な市販キット（3～5千円）の代替。

- ✓ **低コスト化**：地域企業の協賛により**600円**で実現。
- ✓ **地域連携**：袋詰めを福祉事業所に委託（就労支援）、企業電気バスでの送迎活用。
- ✓ **教育効果**：生徒が教材開発・指導を行うことで、課題解決力と協働性が向上。

🏆 **第11回崇城大学ビジネスプランコンテスト『準優勝』**

工業化学科：廃棄される植物などを利用したクレヨン製作と環境教育

廃棄から価値へ：地域企業の廃棄食品・ロスフラワーを活用し、環境教育（SDGs）教材を開発。熊本県アグリビジネスセンターや九州大学との技術連携を実施。

活動の広がり：保育園の環境育出前授業、小学生向け体験会を実施。SDGsの視点を持った**キャリア形成**の向上と自己肯定感の向上につながった。

🏆 **第14回イオンエコワングランプリ『文部科学大臣賞』**



ノウハウのシステム化（6ステップ）

01 ビジョンの明確化

02 現状分析（ギャップ把握）

03 課題の抽出と体系化

04 運用計画の策定

05 実施とモニタリング(PDCA)

06 システム化・見える化

単なる成功事例ではなく
「持続可能な仕組み」としての普及を目指す



①地域とともに、自律的に学び地域を担う産業人材の育成

②持続可能なカリキュラムの開発

育てたい人間像・ビジョン

①社会に適応する人間力を持った人材の育成

②確かな学力の向上と生徒の希望進路の実現

③学校の魅力化、地域とともにある学校づくり

機 械 科	先端技術の学びを次世代に繋ぎ、未来を切り拓く人材の育成
電 気 科	地域企業の未来を担い、地域の発展を支える技術者の育成
電 子 科	情報化社会で活躍できる人材の育成 ～主体性・創造性を育むための課題解決型教育の実践～
工業化学科	地球環境に貢献できる化学技術者の育成
土 木 科	高い技術力を持つ地域を担う人材の育成 ～知識・技能・思考力の育成～

【組織づくり】

(1) 校内組織の再編成

令和6年度の課題改善 ⇒ **行事の重なり解消**

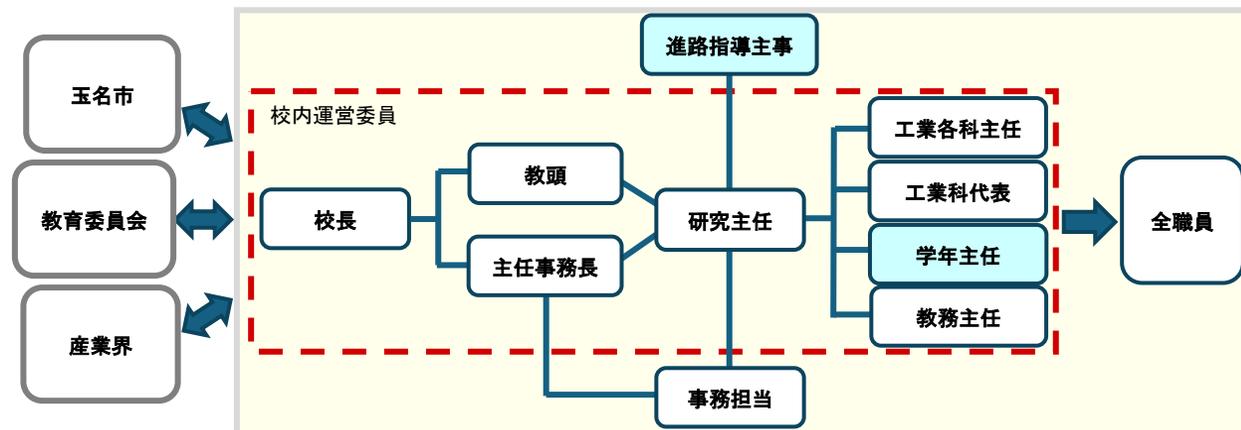
- ・校内運営委員に学年主任を追加
- ・研究主任と進路指導主事の情報共有

(2) 取組の「見える化」 ⇒ **職員の意識改革**

- ・Google共有ドライブに「**マイスター行事予定表**」を作成
- ・取組の紹介および授業見学の案内

(3) 学校運営協議会、県教育委員会、玉名市、肥後銀行へ支援依頼

地域課題と課題解決のために求められる人材や解決方法について助言を仰ぐ



校内組織図



令和6年度

令和7年度

令和8年度～

【連携体制の構築期間】

- ・ 校内推進体制の構築
- ・ 連携先の選定
- ・ 連携先との対話
- ・ 実施可能な授業の検討

【実施・検討・改善】

- ・ 産業実務家教員による授業
- ・ 工場（学校）見学、現場見学
- ・ 体験活動、出前授業や各種講話
- ・ 校内成果報告会 など

【カリキュラムの確立】

- ・ 持続可能な取組へ
- ・ 関係の深化と連携先の拡大
- ・ カリキュラムの検証
- ・ 地域に求められる人材の育成

【令和7年度の取組】

(1) 産業界との連携（連携協定：R8.1.19）

- ・ 連携団体との取組継続 ⇒ **カリキュラムの確立（持続可能）**
- ・ 玉名市誘致企業との連携 ⇒ **地域を担う人材の育成**
- ・ 地域課題の発見と解決 ⇒ **課題解決能力・探究する力の育成**

(2) 玉名市との連携（連携協定の締結）

- ・ 「**高校まつりinたまな**」の開催
⇒ **地域での学び・連携の重要性を地域へ周知PR**

(3) 管内県立学校との連携 ⇒ **管内学校・地域活性化**

(4) 校内成果報告会の実施 ⇒ **生徒・職員の意識改革**

(5) グローバルな視点の育成 ⇒ **海外大学等との連携**



阿蘇中央高等学校の取組

- 人生100年の社会人基礎力や専門性、さらには未来を切り拓く資質・能力を身につけた、熊本の創造的復興と地方創生に寄与するグローバルな視野をもったリーダーを育成します。
- 生徒一人ひとりの個性や能力を最大限に伸長させ、自己実現の達成に向け、産学官金との連携・協働学習をとおして、地域の産業や観光の発展に貢献できる教育を目指します。
- 学科横断的な学びや系統的なキャリア教育の学びを充実させ、学校全体の魅力化に努め、持続可能な開発目標（SDGs）の視点を踏まえた教育活動を展開します。

普通科 上級学校や地域の専門家の協力を得ながら課題解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、探究活動に主体的かつ協働的に取り組もうとする意欲を育む。

探究科 地域学をとおして地域の持つ長所や課題を発見、解決に取り組みながら探究の見方や考え方の知識、スキルの基礎的な資質、能力を身に付ける。身に付けた力をもとに将来にわたって自己の在り方生き方の探究や社会課題の解決に取り組むことができる人材の育成を目指す。

グリーン環境科/緑と水の科学科 企業、自治体と連携し、新しい技術を学びその技術を活かす力を身に付ける。また、地域課題の課題解決力や対話力を育成する。

総合ビジネス科 上級学校・企業や地域の方々との交流をとおして課題を発見し、専門的な商業の知識や技術を活用した解決方法を考え、実践できる力を育成する。

農業食品科/農と食の科学科 専門的な学びをとおして地域の課題に向き合い、農業や食品産業、地域社会の持続的な発展を支える企画力・創造力・実践力を育成する。

社会福祉科 施設・企業や地域の方々との交流をとおして課題を発見し、専門的な福祉の知識や技術を活用した解決方法を考え、実践できる力を育成する。

令和7年度 教育スローガン 「自ら 気づき 考え 学び 行動する ～The 意識～」



阿蘇中央高等学校の取組

情報Ⅰ 探究科1年



小論文講座
普通科1・2年生



中小企業診断士
総合ビジネス科3年



ソフトウェア活用
総合ビジネス科2年



情報処理
総合ビジネス科1年



株式会社中九州クボタ 農業食品科2・3年



高性能林業機械研修
グリーン環境科2年



最先端測量技術研修
緑と水の科学科1年



スマート福祉 社会福祉科 全学年



生徒の感想や変容 授業では扱うことができない**最新**の機械を操作することができた。この技術を使うことで効果的な作業ができ、**仕事に対する意識を高める**ことができた。

「**楽しい・わくわく**」は、学校生活でも大切だと感じました。素直な気持ちで仕事に取り組む姿勢を大切にして、「**楽しみ**」や「**達成感**」を感じることができる仕事に就けるよう、**自分の将来を考えたい**。

教師の変容や気づき 実際に生徒が、人や物に触れることの大切さを再認識した。また、そういった体験を通して、生徒のもっと知りたいという**知識欲が高まる**ことも実感した。

スマート農業とその教育を効果的に行うために、学校の圃場の整備について**考えるいい機会**となった。授業実施に向けて**産業教育コーディネーターとの打合せ**も「情報Ⅰ」について全学科で**産業界との意見交換**も行った。

天草工業高等学校の取組

天草工業マイスター・ハイスクールビジョン

- ・校訓「温厚」「誠実」「勤勉」の下、天草地区にある工業系学科の高校として、Society5.0に対応する専門知識や技術を持ち、産業界に貢献できる技術者を育成する。
- ・コミュニケーションスキル等の向上を図り、地域の魅力ある資源を理解し、地域コミュニティを担う人材を育成する。

○学校経営案の内容を再整理することによる、各科の企業連携授業の方針の定め方

天草工業マイスター・ハイスクール・ビジョン取組程度表

◎：よくできている ○：できている △：さらなる取組みが必要

マイスター・ハイスクール・ビジョン	機械科 専門高校生 インターンシップ 出前授業	電気科 体験型現場実習 出前講座 実技講習等	土木科 体験型実習 実技講習 出前講座	情報技術科 CG制作実習等
① Society5.0に対応する専門知識や技術を習得できる。	○	△	○	◎
② 産業界に貢献しようとする態度を身に付ける。	◎	◎	◎	◎
③ コミュニケーションスキル等の向上を図る。	◎	○	○	◎
④ 地域の魅力ある資源を理解する。	○	◎	○	○
⑤ 地域コミュニティを担おうとする態度を身に付ける。	○	◎	◎	◎

キャリア教育を通して身に付けさせたい基礎的・汎用的能力

ア 人間関係形成・社会形成能力	他者の個性を理解する力、他者に働きかける力、コミュニケーション・スキル、チームワーク、リーダーシップ
イ 自己理解・自己管理能力	自己の役割の理解、前向きに考える力、自己の動機付け、忍耐力、ストレスマネジメント、主体的行動
ウ 課題対応能力	社会の情報化に伴う情報の理解・選択・処理等、本質の理解、原因の追究、課題発見、計画立案
エ キャリアプランニング能力	学ぶこと・働くことの意義や役割の理解、多様な生き方の理解、将来設計、選択、行動と改善、勤労観・職業観等の価値観

例) 電気科

実施時期	対象学年	内容(教科)	連携企業	実施時間	AMHV
6月20日	3年	工程管理表作成(課題研究)	西都建設(株)	3h×1=3h	③ ④ ⑤
10月8日、15日、22日、29日	2年	開線工具取扱、電源車操作と架空送電、ケーブル接続、支柱車操作(実習:電気工事等、電力技術)	(株)九州電力送配電(株)九州電力送配サービス	3h×4=12h	② ③ ④ ⑤
11月19日	2年	天草ロマンティックファンタジー配電作業(実習:電気工事)	天草宝島観光協会 天草電気工事協同組合青年部	6h×1=6h	② ③ ④ ⑤
12月10日	2年	設計業務「将来住みたい自分の部屋の電気設計をしてみよう」(実習、製図)	(株)クラフティア(旧(株)九電工)	3h×3=9h	① ② ③ ⑤
3月18日	〃	出前授業(実習)	天草電気工事協同組合	3h×1=3h	② ③ ④ ⑤

キャリア教育の視点で期待する効果

キャリア教育の視点で期待する効果	基礎的・汎用的能力			
電気業界への高い興味・関心を持たせる。	ア	イ	ウ	
地域の企業等のつながりを深め、地域に貢献しようとする態度を身に付ける。	ア	イ		エ
学校では学べない実践的な学習から、高い専門性と就労意識を身に付ける。	ア		ウ	エ

スクール・ミッション推進委員会 及び 運営委員会の一部

校長

教頭
事務長

MHS担当兼
工業科代表兼
電気科主任

- 教務主任
- 進路指導主事
- 将来構想部長
- 工業各科主任

マイスター・ハイスクール
事業推進委員会

事務会計担当

校内組織図

天草工業高等学校の取組

機械科

目標：急速な技術革新に対応し、持続可能な社会づくりに貢献する機械技術者を育成する。

ヤマハ天草製造
安全教育

天草エアライン(株)
航空機整備実習



電気科

目標：電気の専門知識・技術を習得し、生きる力、考える力を備えた電気技術者を育成する。

イルミネーション設営 (2年)
天草電気工事業協同組合

工程管理表作成 (3年)
西部電設(株)

電力送配電実習 (2年)
九州電力送配電(株)



土木科

目標：建設産業への関心を高め、地域社会の発展と暮らしを創造する技術者を育成する。

測量実習 (3年)
建設業協会

ドローン実習 (3年)
株式会社「岳」

コンクリート舗装実習 (3年)
(一社) 熊本県天草地区建設業協会



情報技術科

目標：クリエイティブな能力を習得し、電気・情報エンジニアと3DCGデザイナーを育成する。

CGの学び(1・2年)
ORENDA WORLD

東京ゲームショウ
自作ゲームの出展



今年度の方向性：企業等連携授業をカリキュラムに落とし込む。

次年度の方向性：産業実務家教員との密な打合せと授業内容の刷新。普通教科での企業等連携授業の実施。他分野との連携授業実施。

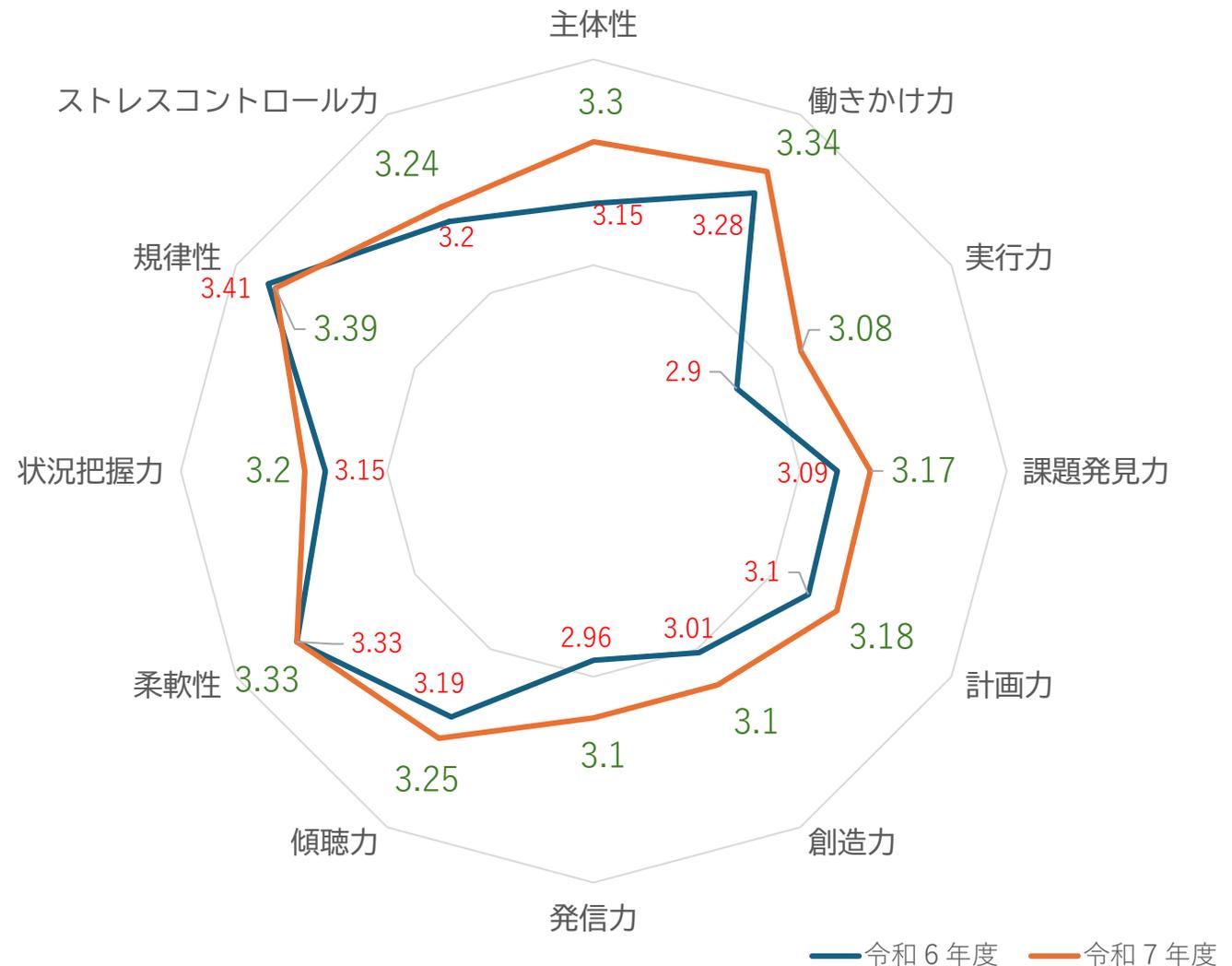
天草工業マイスター・ハイスクール・ビジョン程度表等の評価規準の体系化など。

生徒の変容

生徒の変容（社会人基礎力）

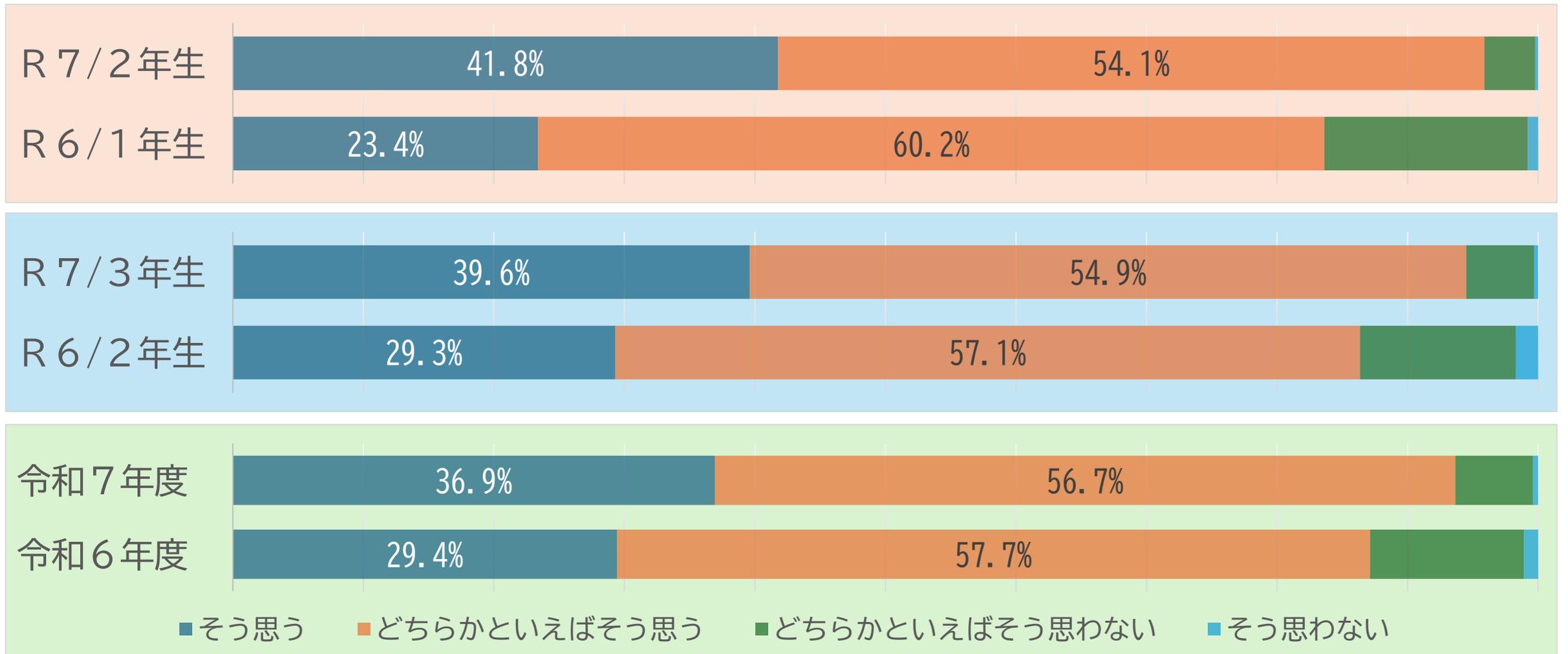
文部科学省の委託業者が実施した項目を熊本県独自に経済産業省の社会人基礎力に当てはめたもの

1 2 の能力要素	令和6年度	令和7年度	増減
主体性	3.15	3.30	0.15
働きかけ力	3.28	3.34	0.06
実行力	2.90	3.08	0.18
課題発見力	3.09	3.17	0.08
計画力	3.10	3.18	0.08
創造力	3.01	3.10	0.09
発信力	2.96	3.10	0.14
傾聴力	3.19	3.25	0.06
柔軟性	3.33	3.33	0.00
状況把握力	3.15	3.20	0.05
規律性	3.41	3.39	▲0.02
ストレスコントロール力	3.20	3.24	0.04



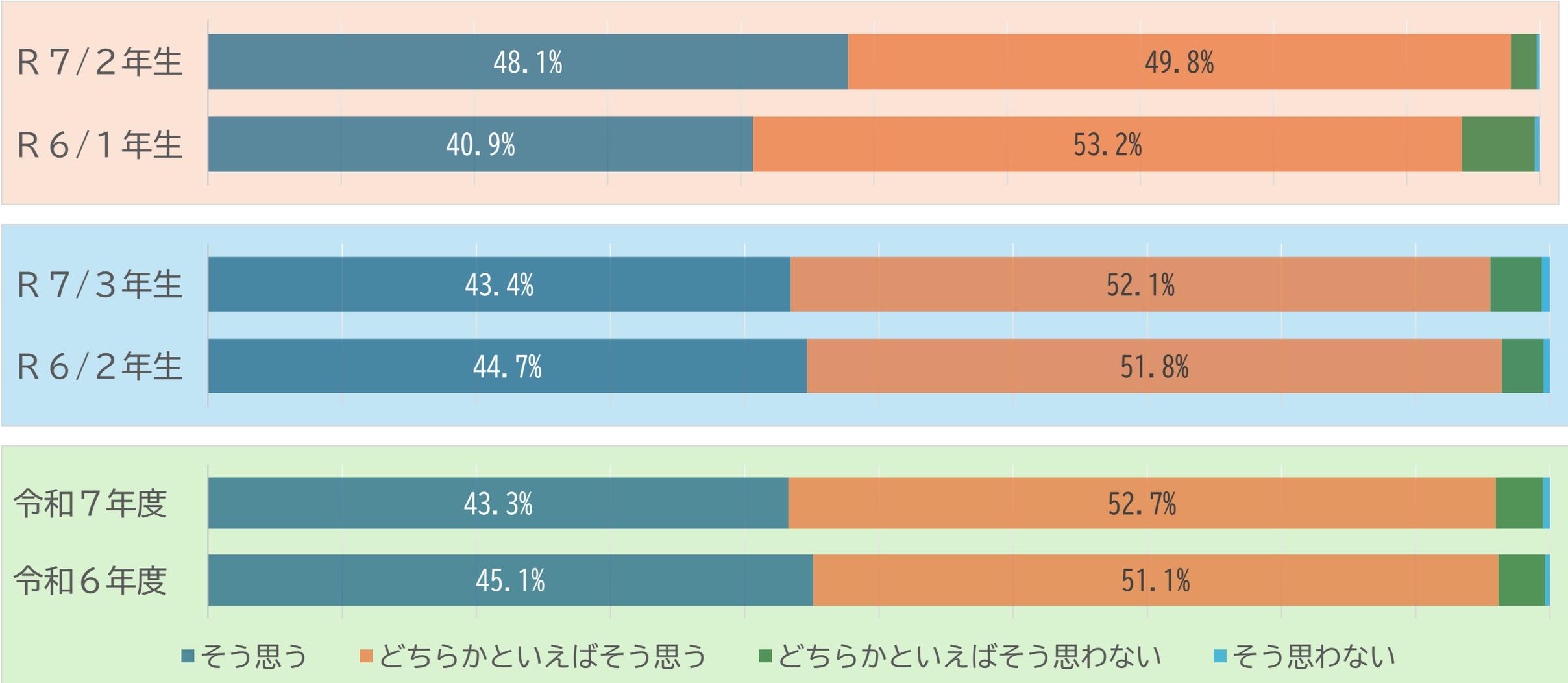
生徒の変容（主体性）

やるべきことに対して、積極的に取り組むことができる



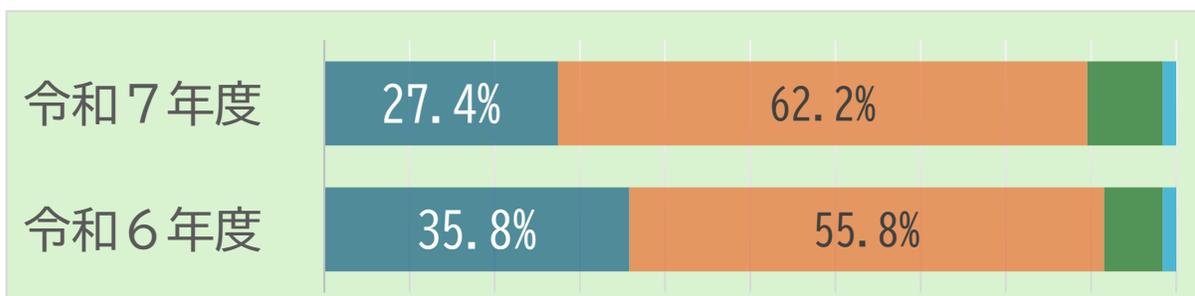
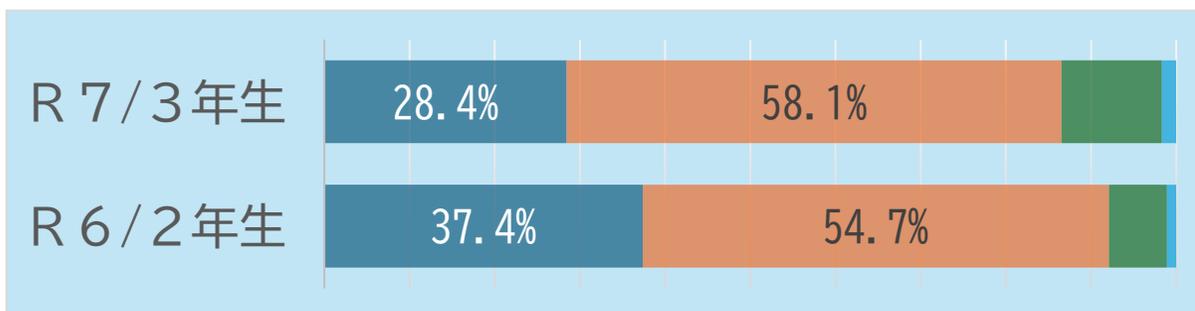
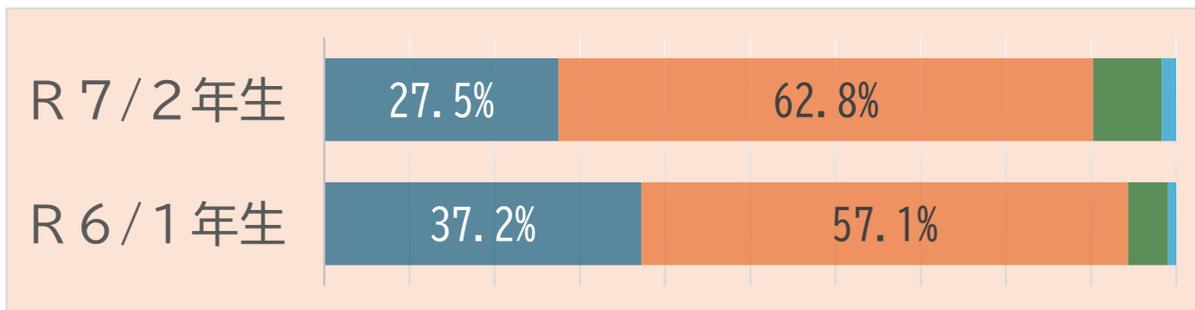
生徒の変容（規律性）

集団や社会生活の規則やルールを守ることができる



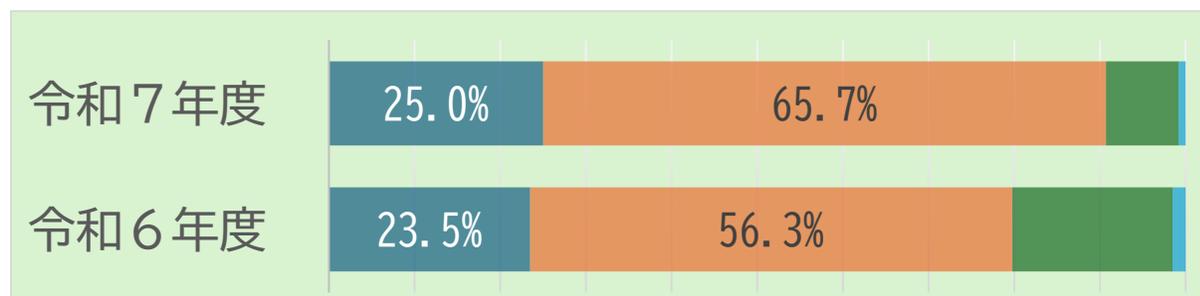
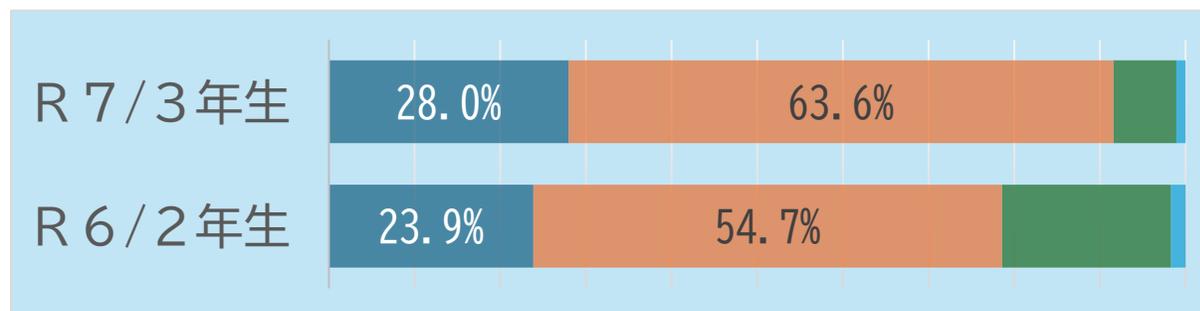
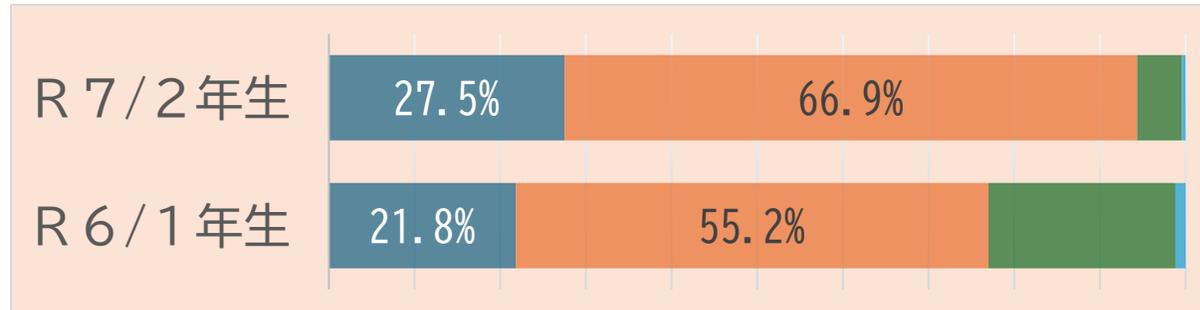
生徒の変容（知識・技術について）

授業で学んでいる知識や技術について、もっと知りたいと思う



■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない

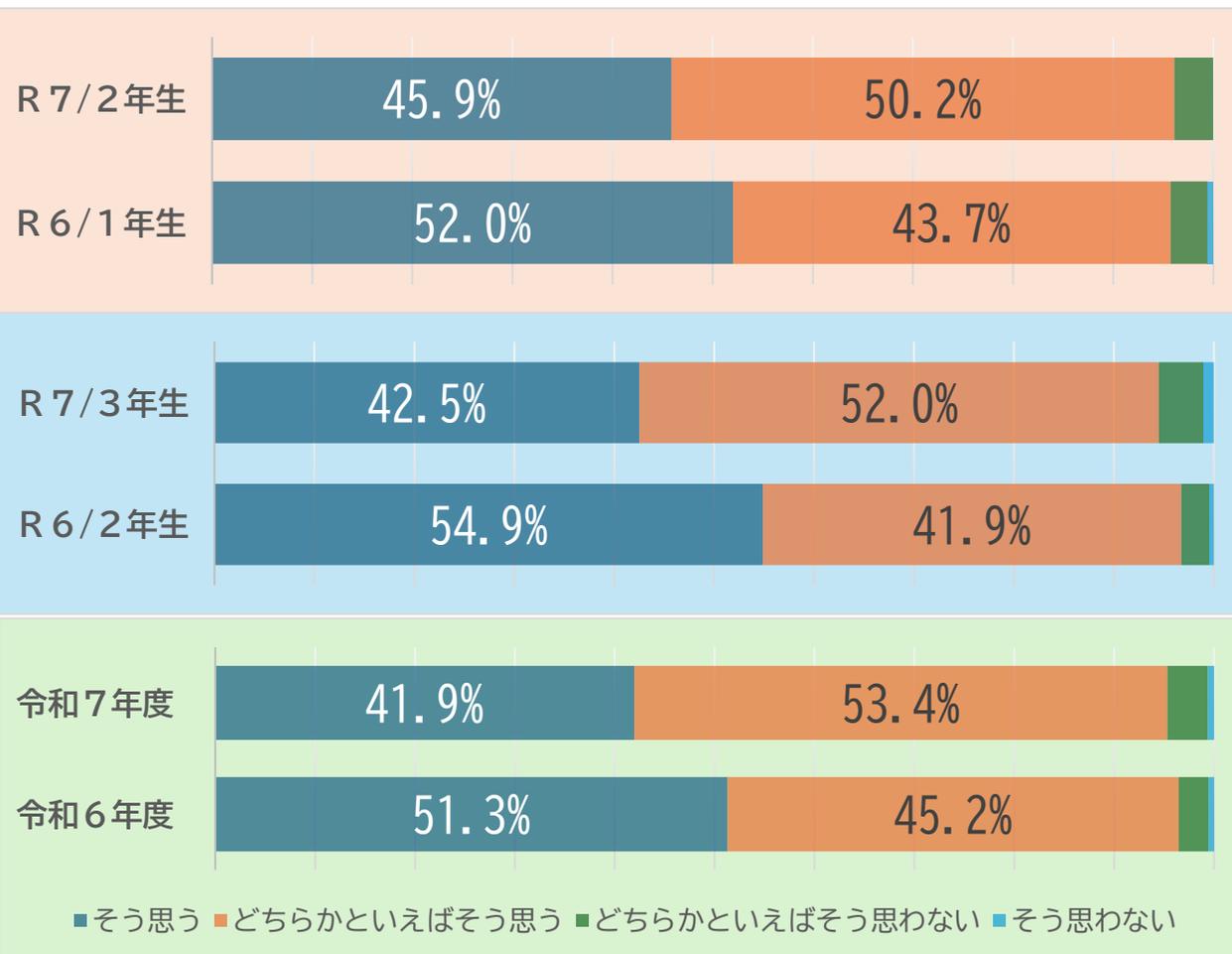
仕事や社会の中で使われている知識や技術について、理解していると思う



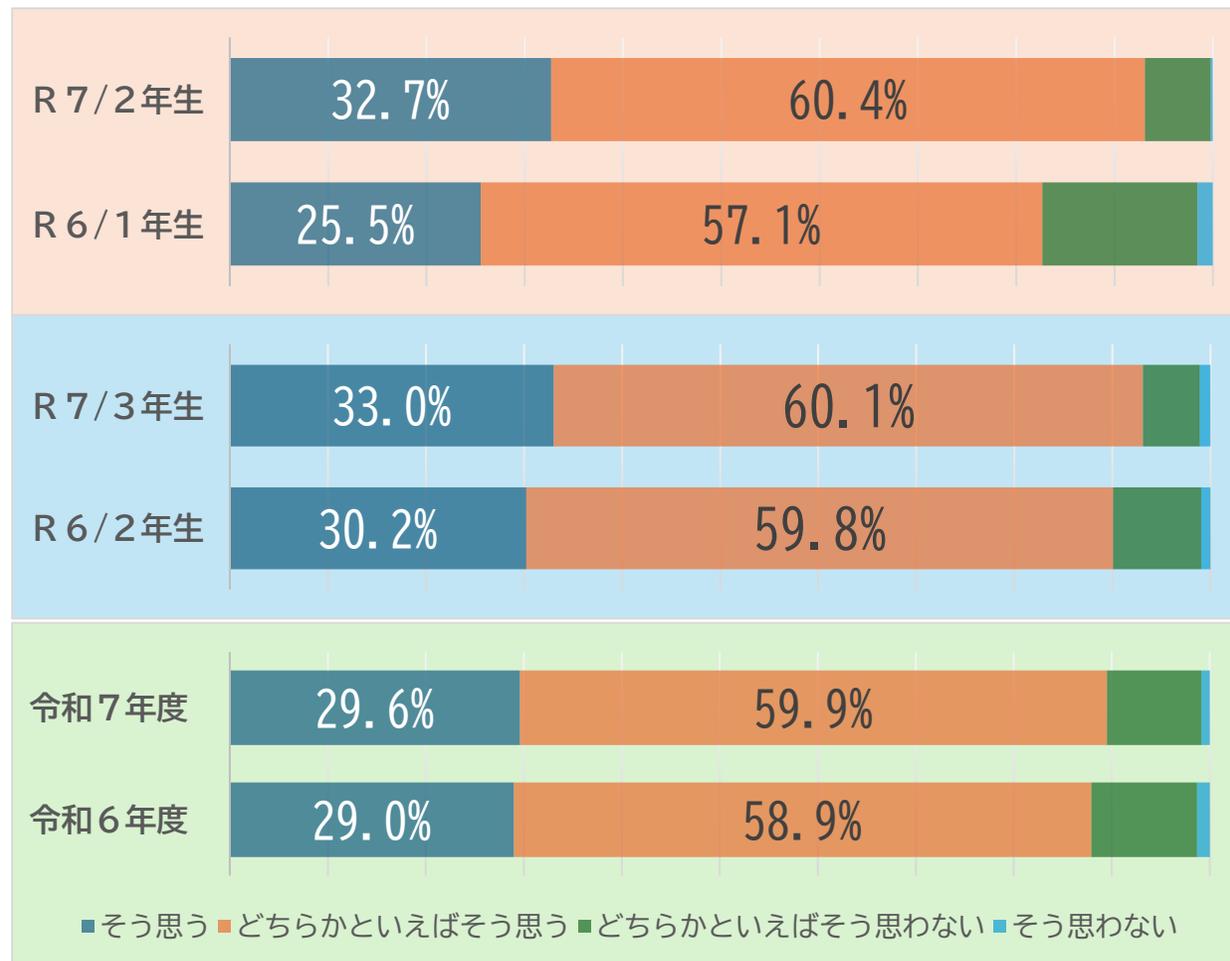
■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない

生徒の変容（進路についての考え）

企業や地域の人から学ぶことは、将来の進路を考えるのに役立つと思う



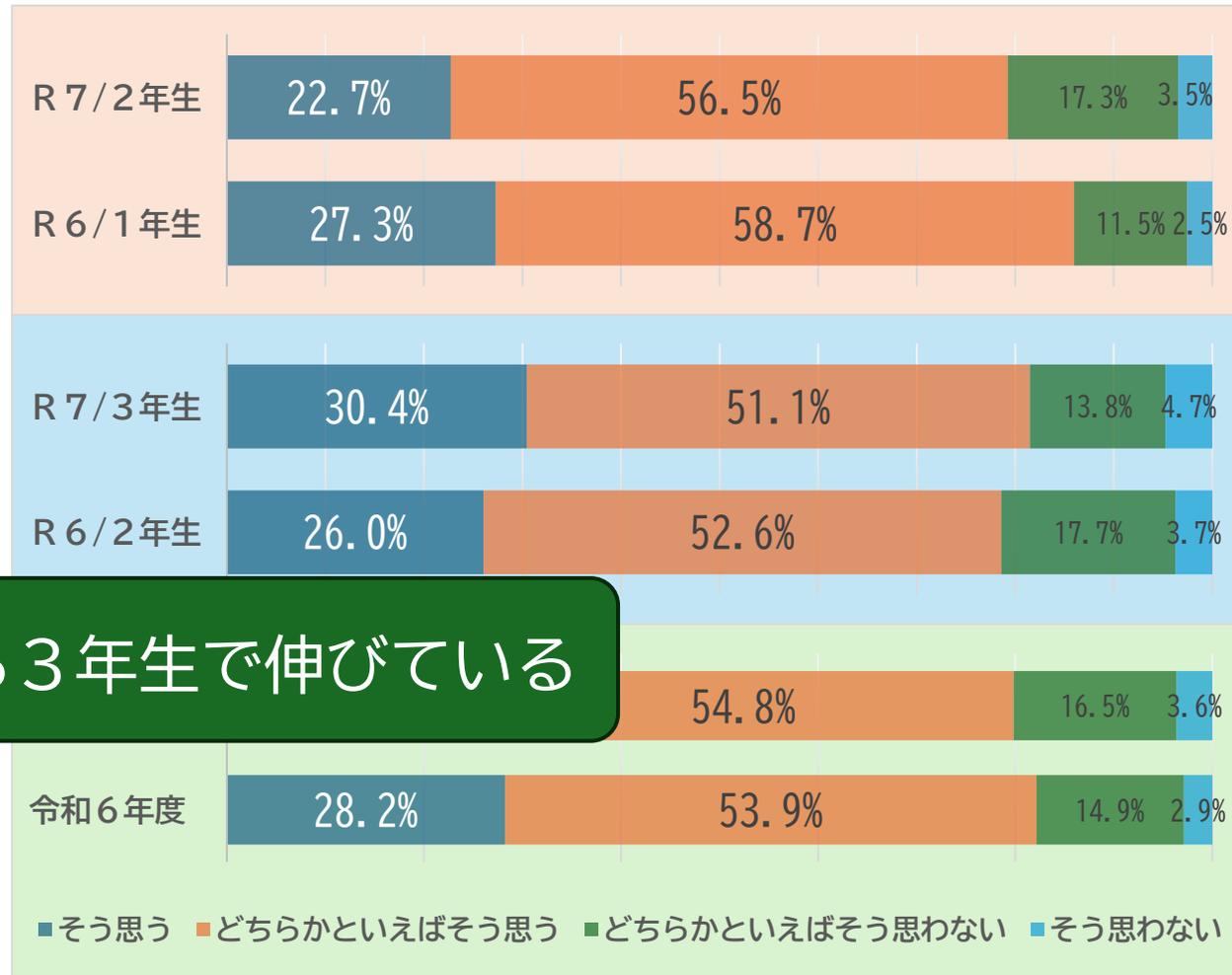
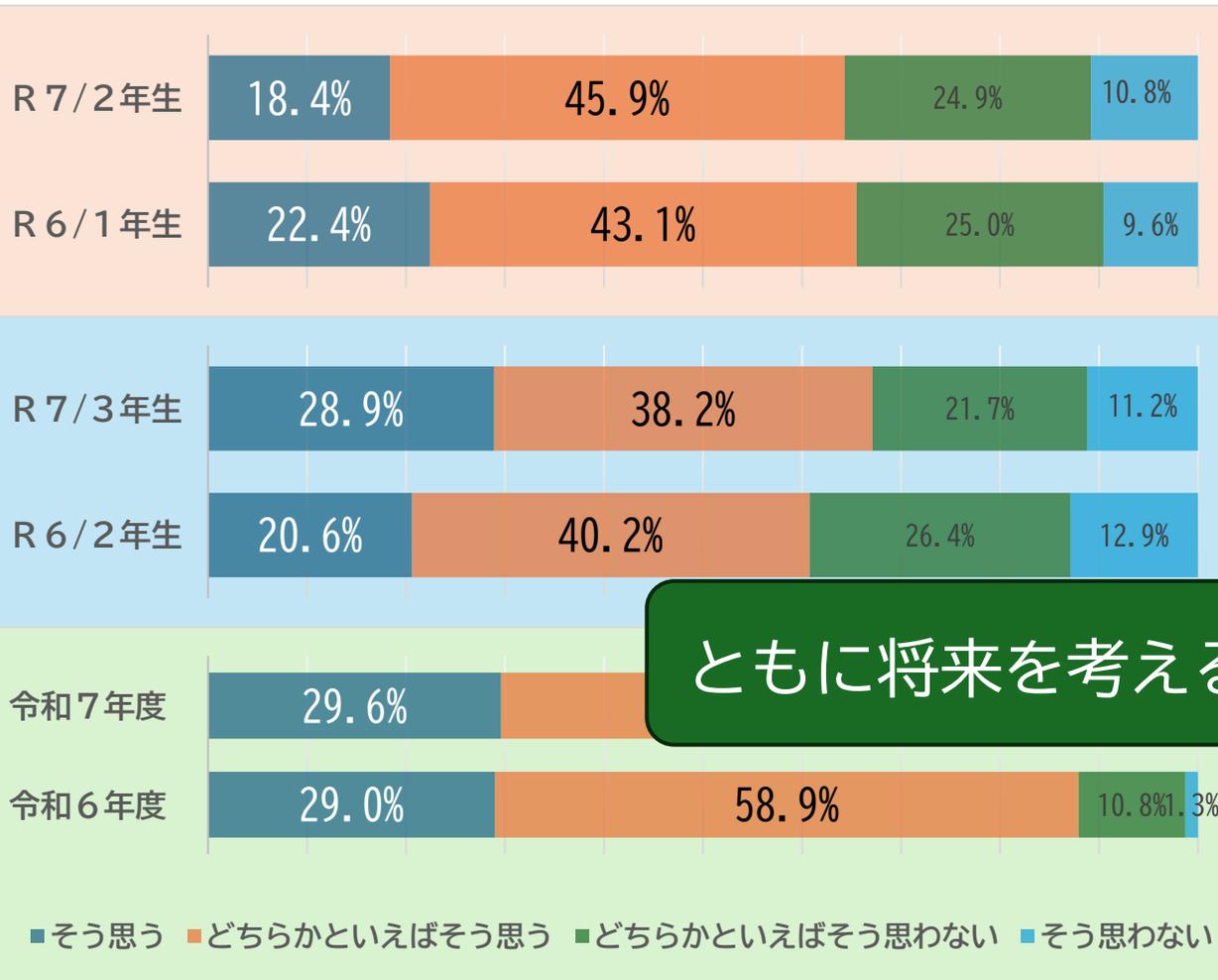
地域の企業や産業について、進路を考えるための情報を十分に知ることができた



生徒の変容（進路についての考え）

地元の企業に就職したいと思う（進学する場合は卒業後に）

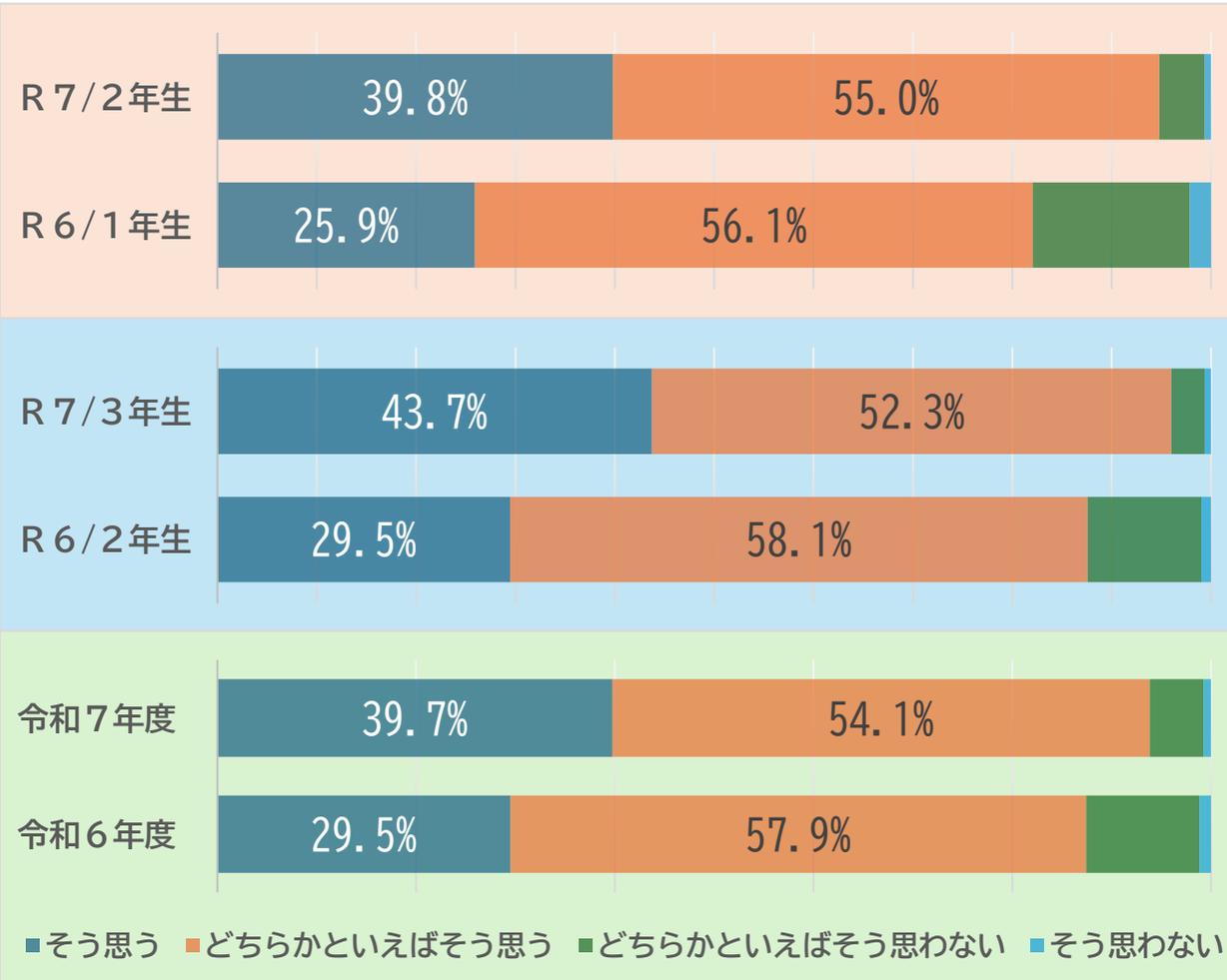
地元の発展に貢献したいと思う



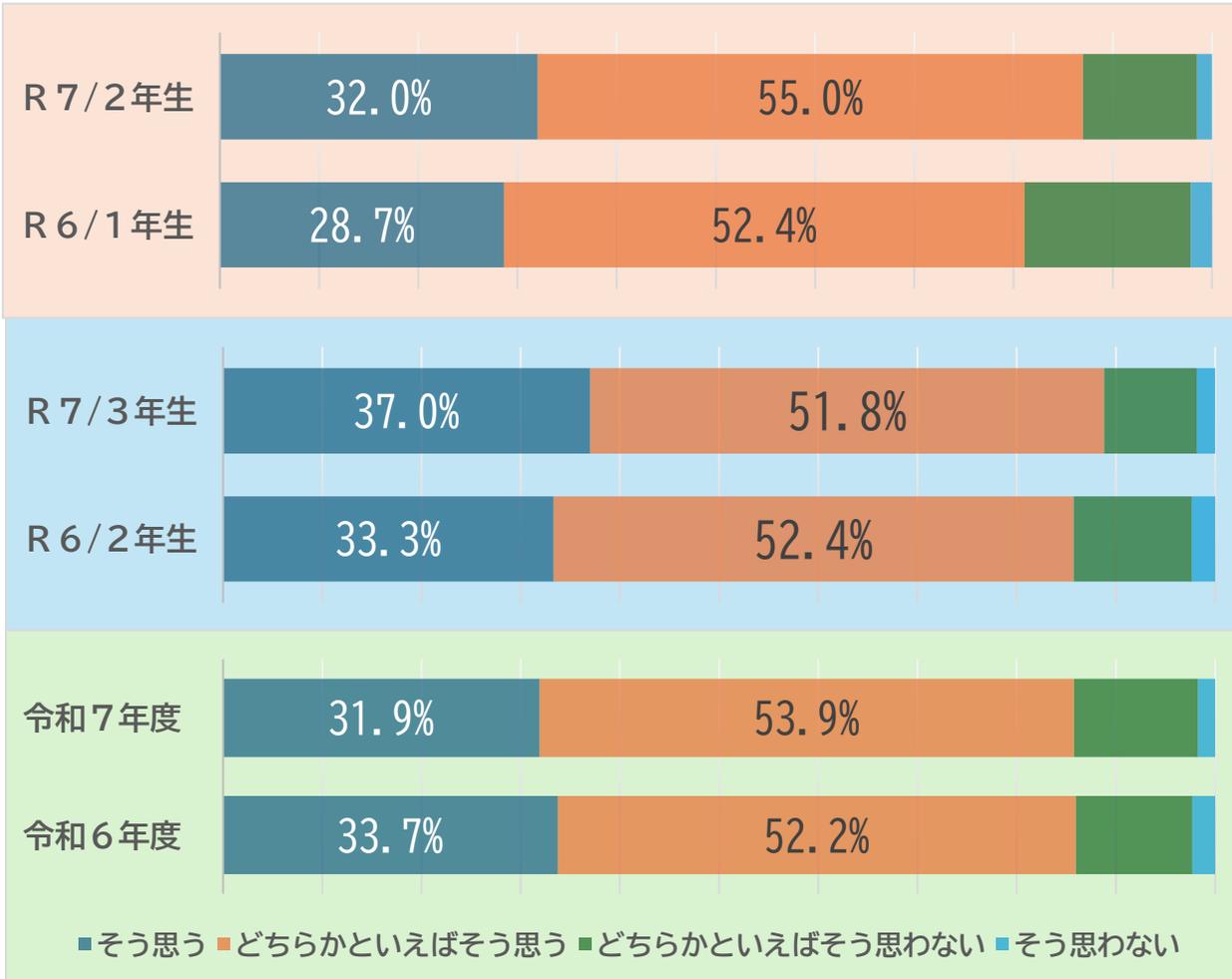
ともに将来を考える3年生で伸びている

生徒の変容（将来に向けた考え）

将来の目標を考え、それを実現するために努力している

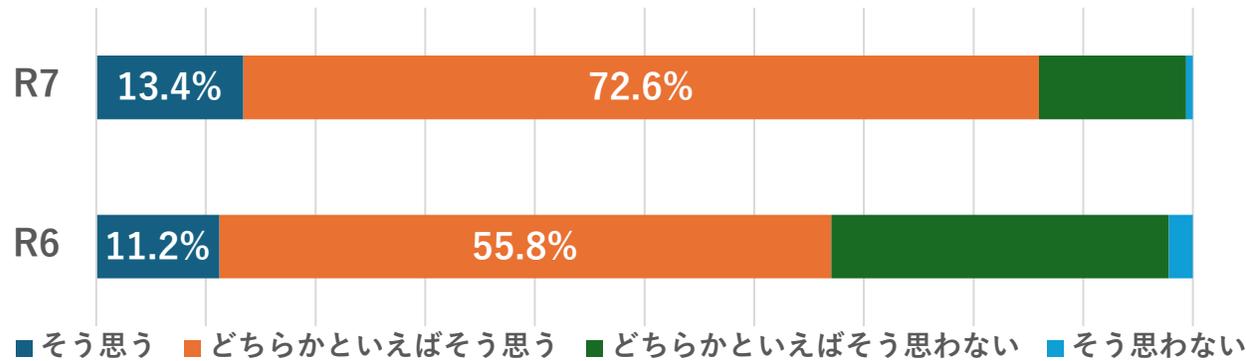


将来に対して希望を持っている

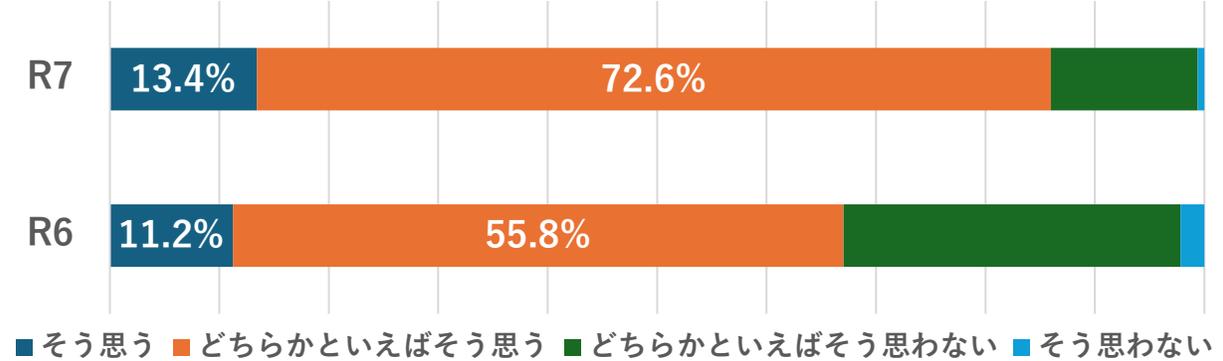


教職員から見た生徒の変容

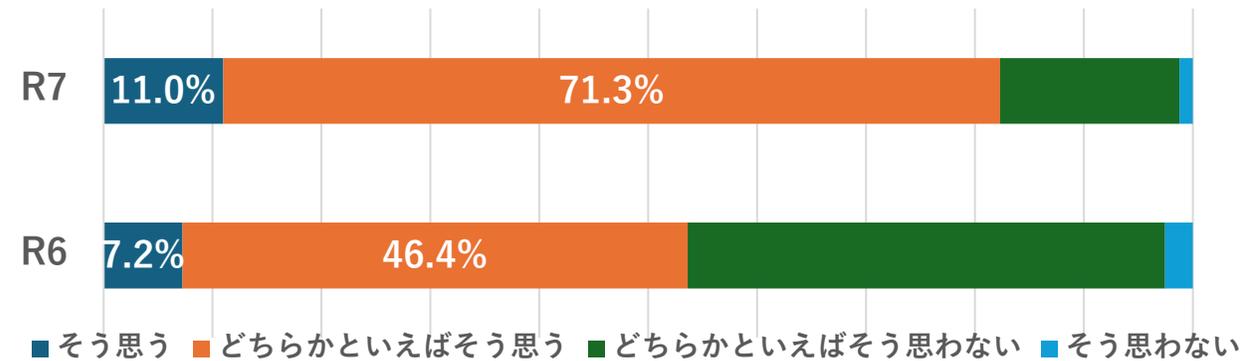
生徒は、課題に対して粘り強く考えることができた



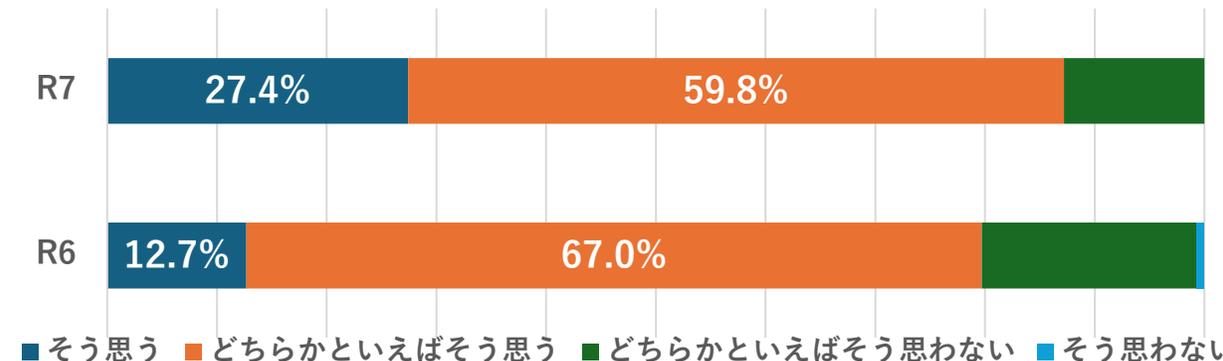
生徒は、課題に対して他者と協力することができた



生徒は、自分の意見や考えを分かりやすく伝えることができた

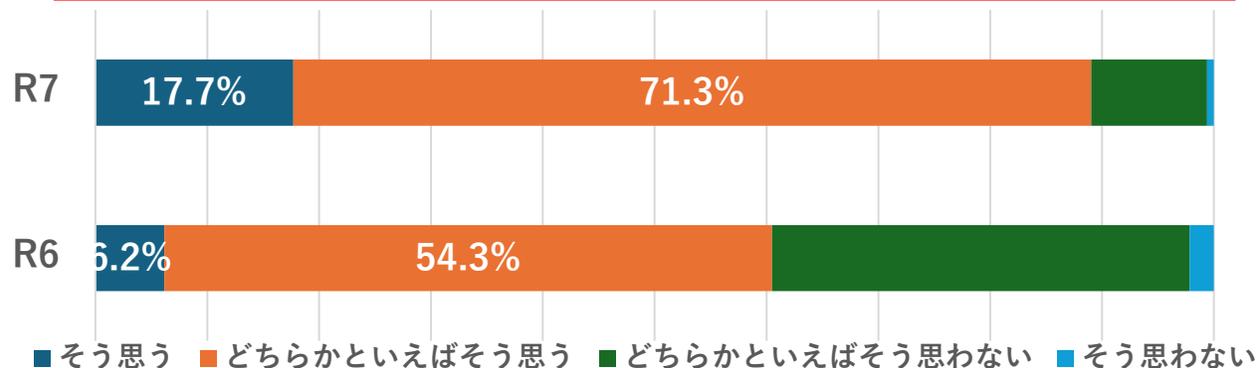


生徒は、授業で学んでいる知識や技術に興味を持っていた

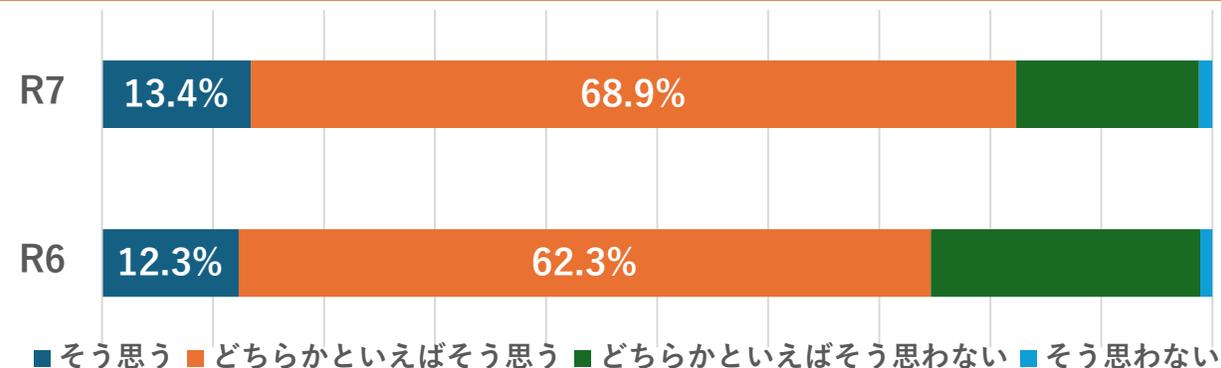


教職員から見た生徒の変容

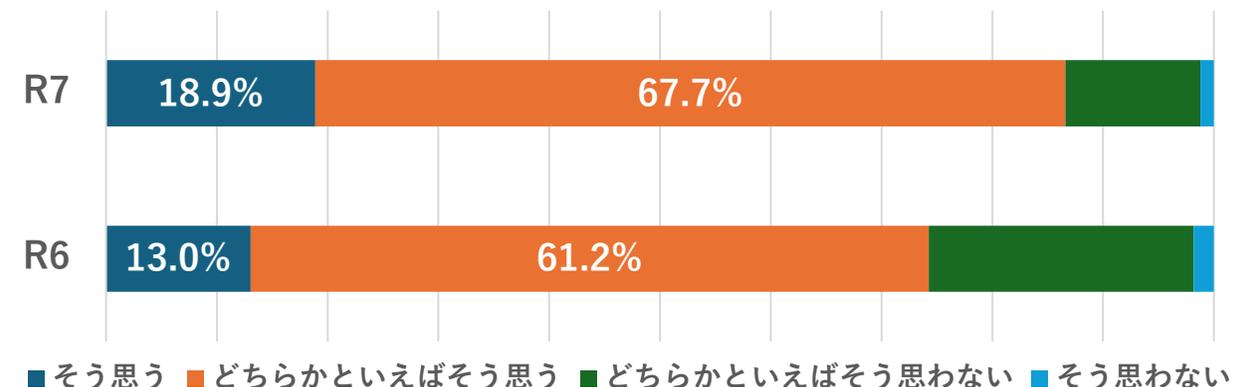
生徒は、仕事や社会の中で使われている知識や技術について理解できた



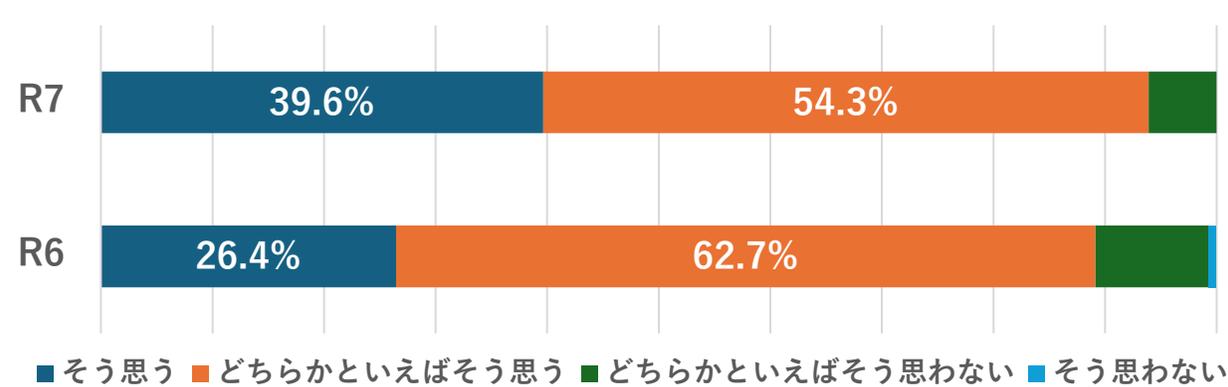
生徒は、普段の生活の中で、仕事や社会で使われている知識や技術を役立てたいと思っていた



生徒は、仕事や社会の中で使われている知識や技術を学ぶことで、学校の授業の大切さを理解していた



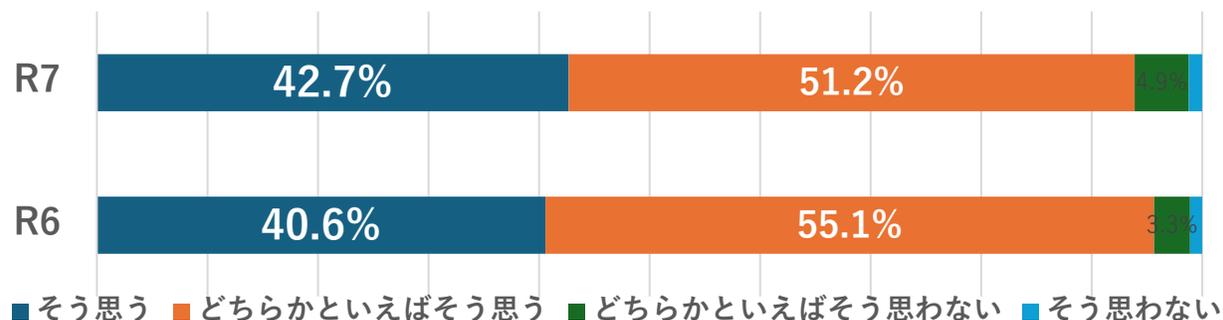
生徒は、企業や地域の人から学ぶことが、将来の進路を考えるのに役立つと思っていた



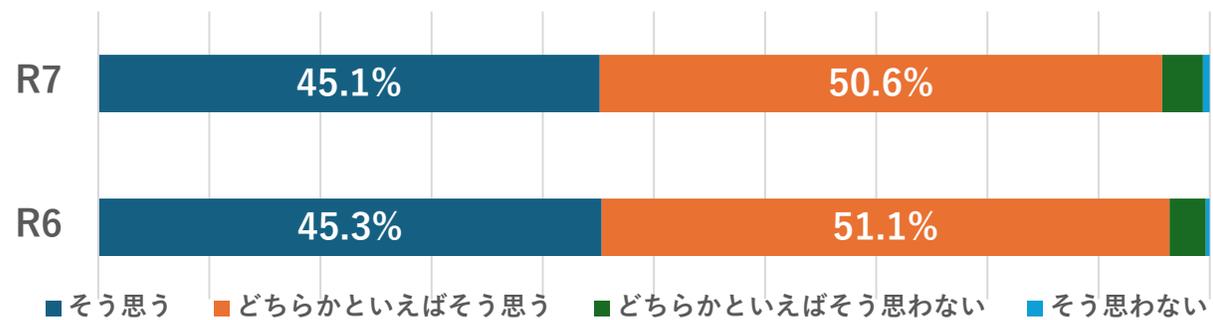
教職員の変容

教職員の変容

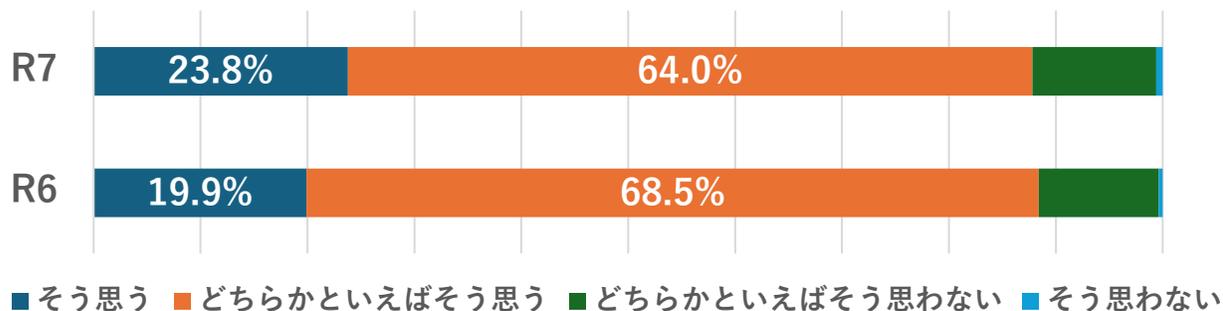
学校が産学連携に取り組む必要性を、あなたは十分に理解していると思いますか



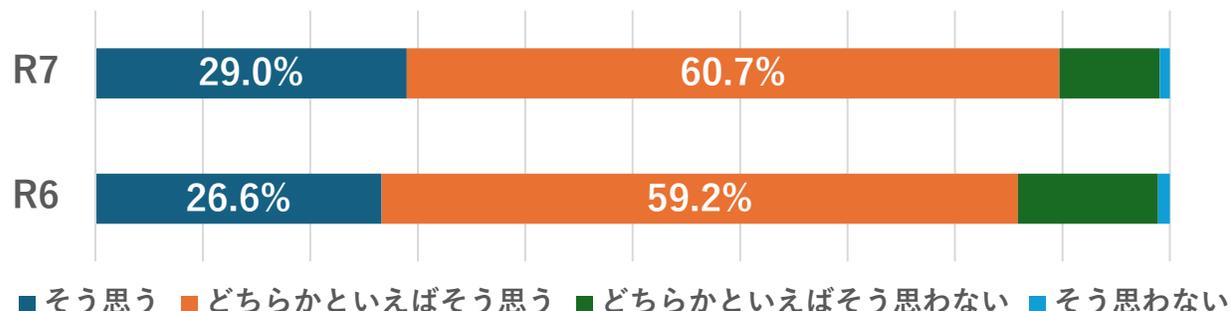
産学連携の取組が、学校の目標に合っていると思いますか



地域の産業や企業について理解している

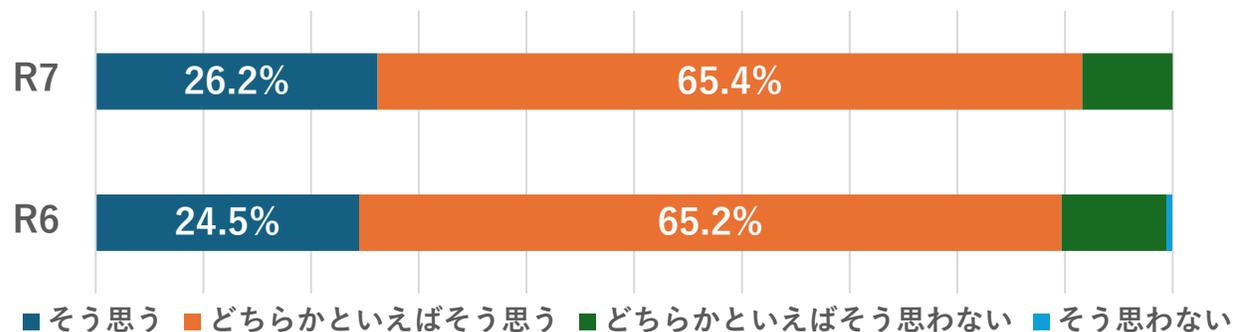


産業界や地域社会との連携により、自身の専門性や指導力が高まった

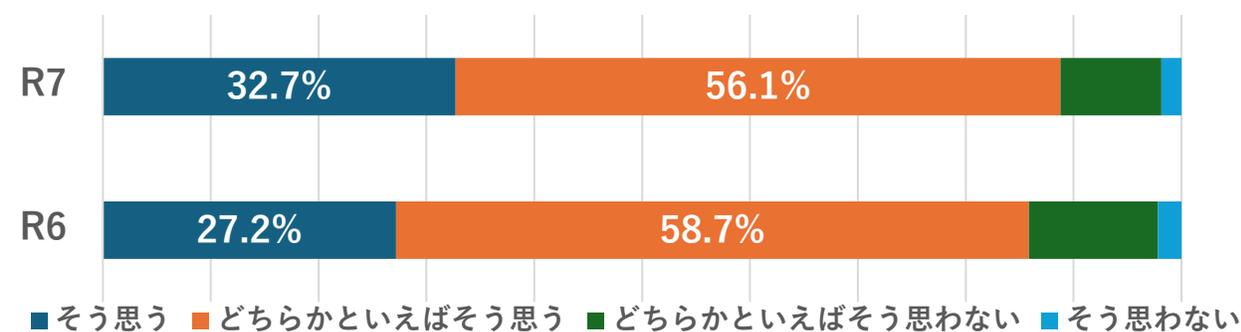


教職員の変容

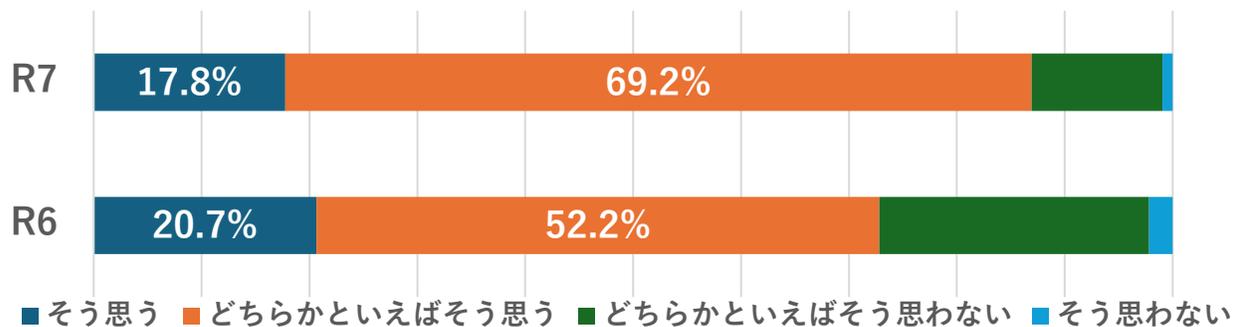
産業界や地域社会との連携により、地域を支える産業や職業について、進路指導を行うに十分な理解が深まった



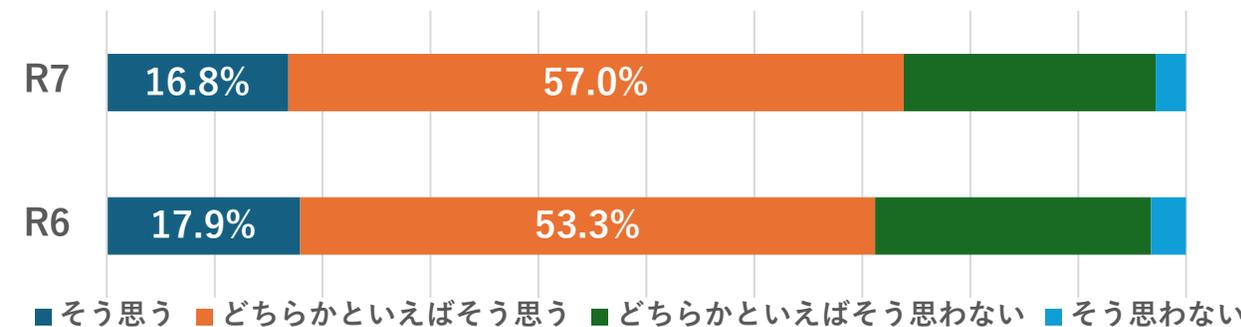
産業界や地域社会との連携により、授業の指導方法やカリキュラムを改善する必要性を感じた



生徒に必要な資質や能力について、産業界や地域社会と対話しながら決定するようになった

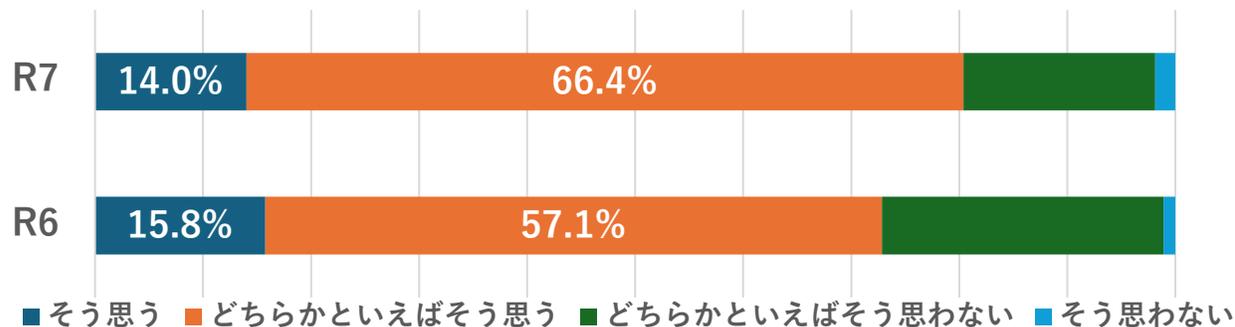


産業界や地域社会と連携して、授業や単元の計画を検討するようになった

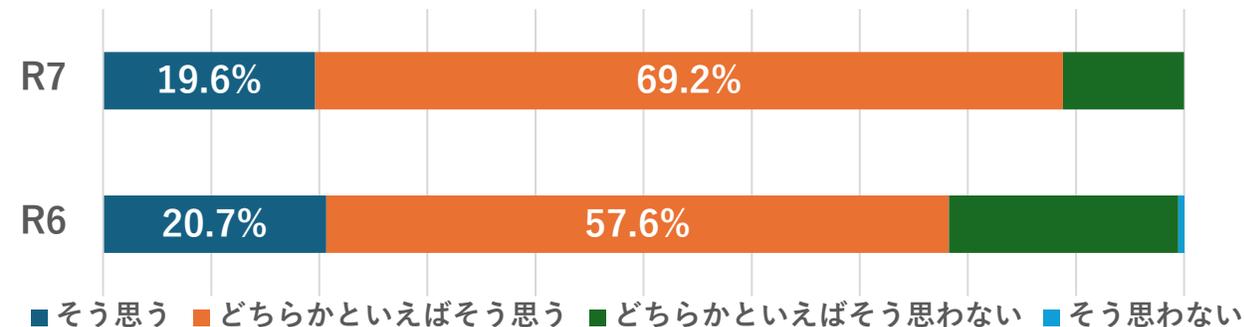


教職員の変容

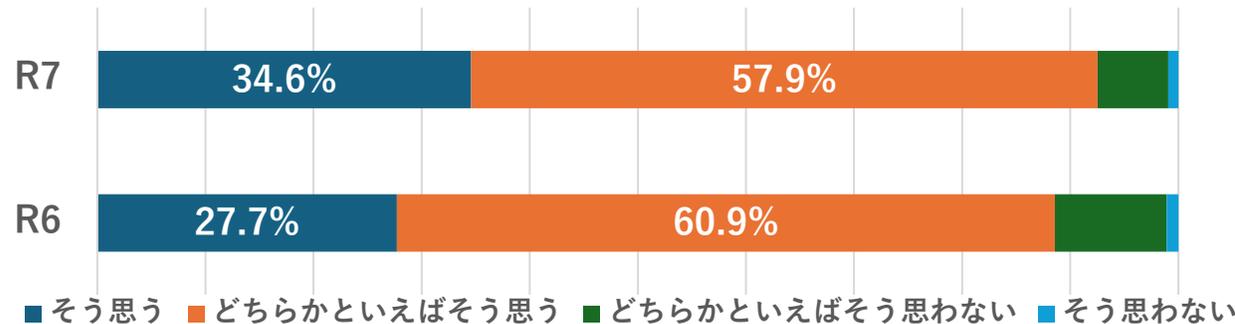
産業界や地域社会と協働して取り組んだ学びの評価を共有し、それを基に改善に取り組んだ



産業界や地域社会との連携により、創造的で効率的な教育活動が展開された

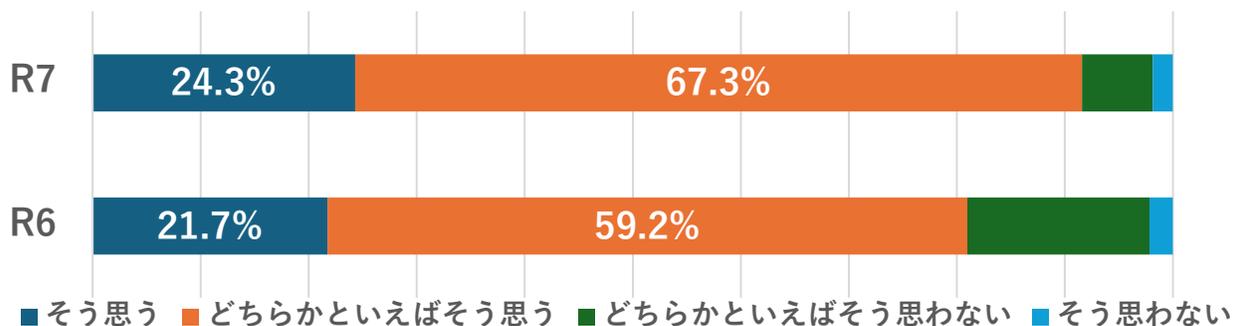


産業界や地域社会との連携が、学校の魅力向上や教育活動の活性化につながった

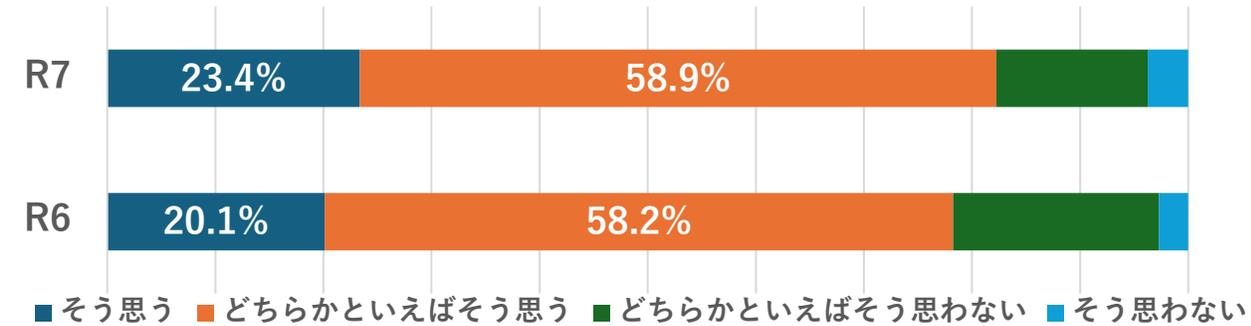


教職員の変容

学校内で組織化が図られたことにより、産業界や地域社会との連携に前向きに取り組めた



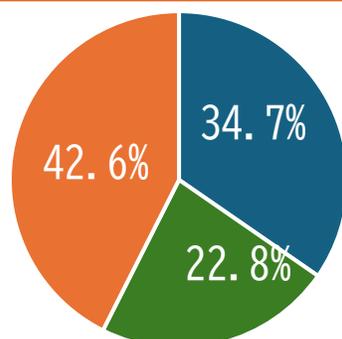
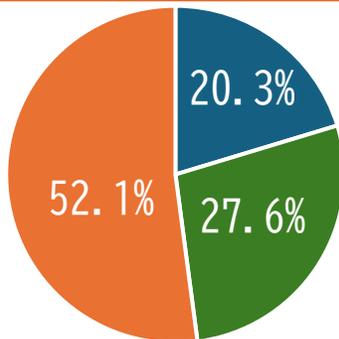
相談できる学校外の関係機関やコーディネーターがいることで、産業界や地域社会と連携しやすくなった



産業界の変容

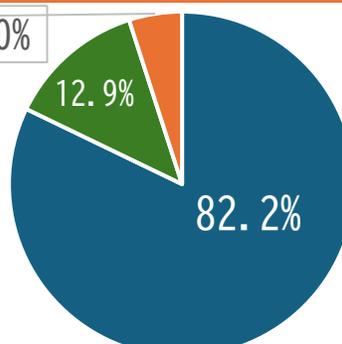
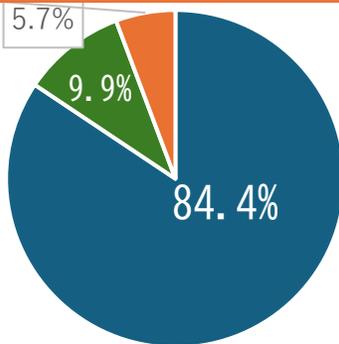
産業界の変容

マイスター・ハイスクールをご存知ですか



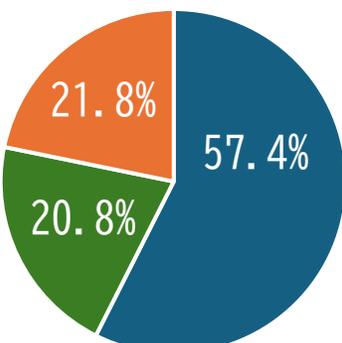
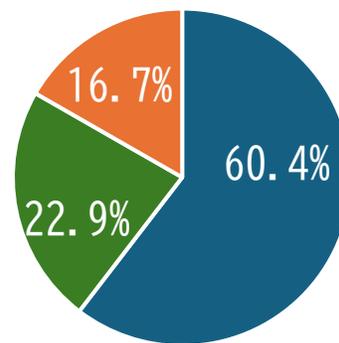
- 1 内容を知っている
- 2 聞いたことがある
- 3 聞いたこともなく内容も知らない

御社として、学校と連携した人材育成は、必要と思いますか。



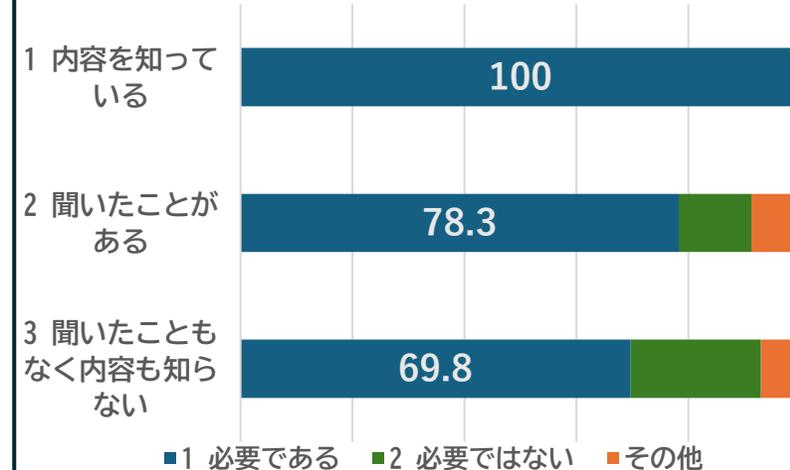
- 1 必要である
- 2 必要ではない
- 3 その他

今後、御社として県内高等学校と連携した産業人材育成に取り組んでいきたいと思いませんか。

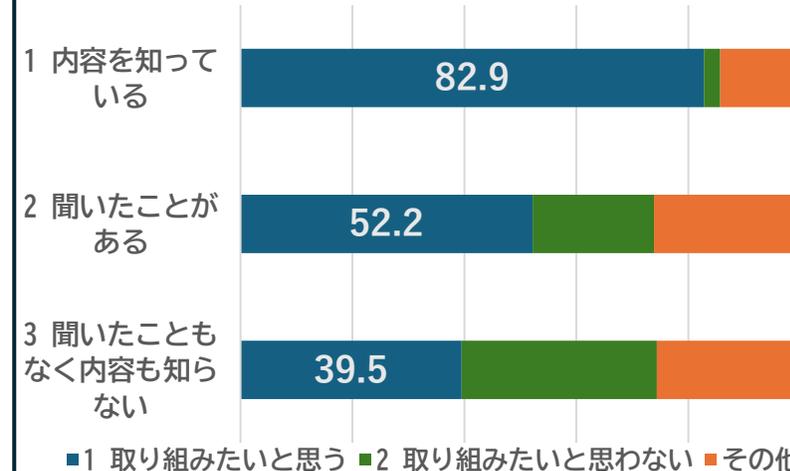


- 1 取り組みたいと思う
- 2 取り組みたいと思わない
- 3 その他

認知度と必要性の認識



認知度と参画意欲



産業界からの意見（フリー記述の傾向）

ポジティブ

地域貢献・若者定着、業界理解・イメージ刷新、技能継承・専門技能への理解、職業教育・キャリア教育、人材確保・採用への期待、企業認知度向上・CSR 等

生徒のよりよい未来の実現、企業の社会的責任、地域振興など幅広い視点での理解が広がっている
(採用への期待のみでない)

ネガティブ

人手・リソース不足、事業規模の制約（家族経営等）、高卒採用予定がない、対象要件（免許等）の壁、社の業務内容と合わない、制度理解不足・イメージが湧かない、スケジュール・安全・運用負担

課題はあるものの、好事例の共有や県の施策強化による解消も期待できる（潜在的な肯定の掘り起こし）

例：人手・リソース⇒業界団体との連携（天草工業高校の取組など）

免許等の課題⇒VR等の疑似体験

制度理解不足⇒県による一層の広報・周知活動

スケジュール・安全・運用負担⇒プラットフォーム機能の強化、制度設計の見直し

KPI

マイスター・ハイスクール事業（KPI）

上位目的（中長期の到達目標） 全県立高校で、熊本で学び、熊本で育む市町村単位の産学官金連携の持続可能な産業人材育成エコシステムの構築をとおして、本県の産業・地域振興に貢献しようとする人材の育成を図る

中間目標（普及促進の到達目標）

学校：拠点校4校（教職員・生徒）が事業を通じた取組みや経験によって、地域との対話による授業改善等が行われること（学校を地域に開くこと）により認識した意義や価値を言語化し、県内の高等学校に発信、共有する。

地域：拠点校4校と連携した企業が、教育に参画することにより認識した意義や価値を言語化し、県内全体（産業界）に発信共有する。

		KPI（普及促進）	KGI（10年後？）	KGP（10年後？）
学校 （拠点校）	KPI① （教員）	（理解度）地域の産業や企業について理解している教員の割合 （取組度）産業界・地域社会と一体となってカリキュラム刷新に取り組んだ教員の割合 （組織度）組織化により産業界や地域社会と連携しやすくなったと回答した教員の割合	地域（産学官金）と連携し、キャリア教育に関するカリキュラム刷新に取り組んでいる県立高校（全日制）の割合	【ビジョン】 学校と地域（産官学金等）が一体となって、子供たちの成長や夢の実現を応援する熊本 【KGP】 産官学金連携による市町村単位の産業人材育成エコシステムを構築し、学校と産業界・地域社会の協働によるキャリア教育を全県立高校で実践する。
	KPI② （生徒）	（理解度）地域産業や職業を理解した生徒の割合 （貢献度）将来熊本県に貢献したい生徒の割合 （成長度）課題解決能力が身についた生徒の割合		
共通	KPI③	（連携度）新規拠点校の協力企業・団体の増加数		
産業界・行政	KPI④	（認知度）「熊本県版マイスター・ハイスクール事業」を知っている県内企業の割合	就職した生徒又は卒業生のうち、県内企業に内定した生徒の割合	
	KPI⑤	（意欲度）県内高等学校と連携した産業人材育成に取り組んでいきたいと思う、と回答した企業等の割合		

マイスター・ハイスクール事業（KPI）

		KPI（普及促進）	目標値	R 6	R 7
学校 (拠点校)	KPI① (教員)	(理解度) 地域の産業や企業について理解している教員の割合	95%	88%	88%
		(取組度) 産業界・地域社会と一体となってカリキュラム刷新に取り組んだ教員の割合			
		(A) 連携により授業の指導方法やカリキュラムを改善する必要性を感じたと回答した教員の割合	95%	86%	87%
		(B) 必要な資質や能力について、産業界や地域社会と対話しながら決定するようになった、と回答した教員の割合	85%	73%	74%
		(C) 連携して、授業や単元の計画を検討するようになったと回答した教員の割合	80%	71%	81%
		(D) 産業界や地域社会と共同して取り組んだ学びの評価を共有し、それを基に改善に取り組んだと回答した教員の割合	85%	73%	89%
		(組織度) 組織化により産業界や地域社会と連携しやすくなったと回答した教員の割合	90%	81%	92%

マイスター・ハイスクール事業（KPI）

		KPI（普及促進）	目標値	R 6	R 7
学校 (拠点校)	KPI② (生徒)	(理解度) 地域産業や職業を理解した生徒の割合			
		(A) 授業で学んでいる知識や技術についてもっと知りたいと思うと回答した生徒の割合	97%	92%	90%
		(B) 仕事や社会の中で使われている知識や技術について理解していると思うと回答した割合	85%	79%	91%
		(貢献度) 将来熊本県に貢献したい生徒の割合	90%	82%	80%
		(成長度) 課題解決能力が身についた生徒の割合			
		(A) 目標を達成するために解決すべき問題を見つけることができると回答した生徒の割合	90%	85%	89%
		(B) 何かの課題に取り組むとき必要な手順について優先順位を決められると回答した生徒の割合	90%	84%	89%
		(C) 仕事や社会の中で使われている知識や技術について理解していると思うと回答した割合	85%	80%	85%

マイスター・ハイスクール事業（KPI）

		KPI（普及促進）	目標値	R 6	R 7
共通	KPI③	（連携度）新規拠点校の協力企業・団体の増加数	60社	44社	78社
産業界・行政	KPI④	（認知度）「熊本県版マイスター・ハイスクール事業」を知っている県内企業の割合	40%	21%	36%
	KPI⑤	（意欲度）県内高等学校と連携した産業人材育成に取り組んでいきたいと思う、と回答した企業等の割合	80%	60%	57%

マイスター・ハイスクール
をとおした広がり

マイスター・ハイスクールをとおした広がり（八代工業高校）

1 MHS卒業生から産業実務家教員が誕生

○令和3年度～令和5年度のマイスター・ハイスクール事業をとおして、卒業生が産業実務家となり、母校で授業を行う人材の循環が誕生



中田 桃愛 氏（九州デジタルソリューションズ株式会社）

2 合同スキルアップ研修会（教員・生徒）

先導校による普及促進に向けた取組みと産業界のリソース等を検討して合同スキルアップ研修を主催

（1）教員（シナジーシステム株式会社）

- ・産業用ロボットの稼働率向上
- ・指導力不足の解消と学びの充実

（2）生徒（金剛株式会社）

- ・キャリア教育の育成
- ・DXやものづくりを体験



教員研修



生徒研修

マイスター・ハイスクールをとおした広がり（阿蘇中央高校）

拠点校高等学校支援が阿蘇市のふるさと納税のメニューに

阿蘇市Webページより

寄附金の活用用途

皆様からいただいた寄附金は、お選びいただいた用途に沿って大切に活用させていただきます。

- 1. 阿蘇の草原などを守る取り組みを応援**
阿蘇市の雄大な自然景観の保全、循環型社会の構築、歴史文化の保全・振興など、環境と地域資源を未来につなぐ取り組みに活用します。
- 2. 観光・農業・商工業などの地域経済・産業を応援**
農業・畜産・林業の振興、農地の保護、観光地づくり、街のにぎわい創出 など、地域の産業と雇用を支える取り組みに活用します。
- 3. 子どもたちの未来を応援**
幼児教育、義務教育、高校教育、子育て支援など、子どもたちが健やかに育つ環境づくりに活用します。
- 4. 阿蘇中央高校の取り組みを応援**
地域との連携による地域活性化に向けた実践的な教育の推進、地域課題解決型の探究学習活動の実施など、生徒数確保に向け、阿蘇中央高校（旧 阿蘇高校、旧 阿蘇清峰高校<旧 阿蘇農業高校>）が行う地域の魅力化につながる取り組みに活用します。
- 5. 全ての人が健康で健やかに暮らせるまちづくりを応援**
医療体制の充実、福祉事業の充実、スポーツ推進、人権尊重など、誰もが健やかに暮らせる地域づくりに活用します。
- 6. 安心・安全で災害に強いまちづくりを応援**
都市整備、防災対策、公共交通、上下水道など、生活インフラの整備に活用します。
- 7. 阿蘇市の全般的な取り組み**
阿蘇市の全般的な取り組みに活用します。

マイスター・ハイスクールをとおした広がり（玉名工業高校）

地域の産学官との連携協定（玉名市）

玉名市の活性化と玉名工業高校の魅力向上に関する連携協定

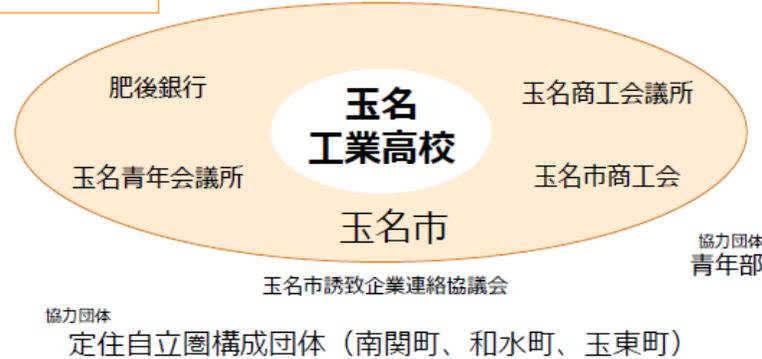
▼目的

熊本県立玉名工業高等学校と相互に連携・協力して、玉名工業高校におけるキャリア教育の推進による産業人材および地域人材の育成を実施することで、玉名市の地方創生と玉名工業高校の魅力向上を図ることを目的とする。

▼協定内容

- 熊本県立玉名工業高校の魅力向上及び教育振興に関すること
- 地域産業を担う人材育成（キャリア教育）及び確保に関すること
- 地域産業の振興及び活性化に関すること
- 地域社会の発展及び地域課題の解決に関すること
- その他、本協定の目的達成に資すること

連携協定団体



企業側

新任教員を対象とした地域企業バスツアー（R8予算成立後）

- ・ 中学、高校の新任教員を対象とした、玉名市内企業のバスツアー。
- ・ 対象企業：3社程度
- ・ 対象者：新任教員・新転任教員
10人程度（中学、高校合わせて）
- ・ 時期：8月（予定）
- ・ 時間：午前10時から午後4時まで

人事・採用に関する勉強会

- ・ 本市への若者定住の重要性
- ・ 高校での企業紹介・**マイスターハイスクール**での授業展開
- ・ 企業担当者が、高校生とどのような接点と繋がりをつくるか。ガイダンスでの高校生への伝え方、インターンシップでの対応方法

玉名工業高校との（キャリア教育を見据えた）連携

1年次

九州・熊本県内産業概論

- ・ どのような産業が強いのか
歴史の変遷
- ・ 我が国の産業の外的要因
人口問題、環境問題、グローバル

玉名学

- ①人口減少
- ②熊本県北地域
- ③玉名を学ぶ
- ④玉名の人を知る
（企業人との懇談）

2年次

・キャリアを考えたインターンシップを実施

- 企業側のプログラムに沿ったインターン
JC（JCの繋がりで市域を超えた繋がり）、商工会、
商工会議所、肥後銀行のコーディネート
- 企業（業界）とのエンゲージメントを高める
- ・ 自分の方向性を固める（就職or進学）

3年次

- ・ 就職、進学に向けて（就職活動の支援・探究学習）



令和8年1月19日に締結

マイスター・ハイスクールをとおした広がり（天草工業高校）

学校を施設等を教材とした取組

熊本県道路舗装協会が主催して、学校敷地内整備を教材とした道路舗装・3Dスキャン、バックホウ操作、グレーダマシントラックコントロール実習を行った。自分たちが通う学校を整備する取組は、生徒への印象も大変良かった様子。生徒は実践的な施工や、ドローンや3D点描スキャナ、自動制御のモーターグレーダなどの最先端の技術を体験した。なお、生徒が舗装した箇所にはプレートが埋め込まれている。



建設業・ナイストライ
土木科62期生 R7.12.3



令和7年11月19日
土木科62期生

熊本県天草地区建設業協会が主催して、学校敷地内整備を教材としたコンクリート舗装実習を行った。生徒は土木に関する座学を受講した後に、学校敷地内校舎外周道路の土間コンクリート打設と品質検査を体験した。こちらも、記念となるプレートが埋め込まれている。

マイスター・ハイスクールをとおした広がり

拠点校以外でのマイスター・ハイスクールの理念の実現の動き



肥後銀行小川支店長 後藤 彰紀氏

熊本県立小川工業高等学校におけるマイスター・ハイスクールの理念を学ぶ研修会が実施された。

- 期 日 令和7年12月24日（水）
参加者 全教職員、株式会社肥後銀行、管理機関
内 容 ○熊本県版マイスター・ハイスクールについて
○熊本県版マイスター・ハイスクールにおける肥後銀行の役割について
○本校におけるKMHSの理念に基づく教育実践

異動した職員がマイスター・ハイスクールの良さを校長に伝えたことがきっかけとして実現

まとめ

まとめ（成果）

市町村を単位とした連携の仕組みが機能しはじめた

人材育成は教育のみではなく、地域振興、経済振興の視点でも共通した課題

⇒本事業が基礎自治体の潜在的なニーズを掘り起こすきっかけとなった

地域の産業団体や企業との連携に主体的に取り組んでいただいている

⇒今後も対話を継続していくことにより、持続的な仕組みとして機能できる

★マイスター・ハイスクール事業をとおして、双方が気軽に対話ができる関係が構築された

地方銀行が産学官連携のハブとなりはじめた

地方銀行が地域振興をミッションとしながら広範な取り組みをされており、マイスター・ハイスクール

の目指すところとの共通点が多いことが分かった

⇒各支店単位で、学校周辺の企業との連携を支援していただいている

⇒キャリア教育・消費者教育の面でも期待が大きい

★地方銀行の地域振興に向けた取組と熱量について知る機会となった

★今後、全県展開していく際に大きな力となることが期待される

まとめ（成果）

校長のマネジメントによる自律的・持続的な取組が進んだ

スクール・ミッション、スクールポリシーや学校教育目標、重点目標への位置、学校ごとのマイスター・ハイスクールビジョンの策定、校務分掌への位置づけなど、校長のマネジメントによる取組が進んでいる

⇒学校経営の方向性に組み込まれることで、全職員が当事者となるような取組が進んでいる

⇒管理職による市町村や経済団体との関係構築が進み、組織的な自律・持続的な取組が進んでいる

★脱属人化は大変だが、連携のハードルは確実に下がっている

産学官金が連携した教育活動が日常化しはじめた

アドバイザーボードの意見を伺いながら、産官学金が相互に尊重した取組に成長している
拠点校においては、連携した授業・実習は既に日常化している

⇒参加企業が令和6年度の44社が、令和7年度には78社と増加している

（構築された地域の産官学金との関係を有効に活用した取組が進んでいる）

先導校（八代工業高校）では、産業実務家教員から教職員への技術移転も進んでいる

⇒双方の負担を最小化する取組など、持続化に向けた取り組みも始まっている

（R4:260時間→R5:143時間→R6:68時間→R7:73時間）

★熊本県においては、産官学金それぞれが産業人材の育成の当事者であるという変化が起こり始めている

まとめ（今後の課題）

連携プラットフォームの構築・運営

- マイスター・ハイスクールの理念の普及と実践について、「誰が」「いつ」「何を」すべきなのかの整理が重要となる。
- 現実問題として費用負担に関する課題解決に向けた検討が必要。
⇒今後、事業運営委員会において次年度以降の組織建てについて検討をお願いする。
- 業界団体からの連携のお話も増えてきており、整理機能が必要となる。
- ★今後のキャリア教育のあり方とともに、検討を進めていく予定。

マイスター・ハイスクールの知名度アップ

- 産業界へのアンケートから、マイスター・ハイスクールの認知度と必要性の理解、参加の意欲には相関があることは明らか
- 産業界への調査では、マイスター・ハイスクール事業についての認知度は34.7%(前年14.4P↑)と、大きく上昇しているものの、さらなるの周知が必要。
- 単にWebページでの方法やSNSでの広報、経済団体の総会等での紹介では不十分。
- 今後は、商工労働部・基礎自治体とともにマイスター・ハイスクールの理念の周知に努めていく。
→教育行政からのアプローチには限界がある

まとめ（熊本県版マイスター・ハイスクールビジョン）

夢を見つけ、夢をもって生きることができる未来

- 1 主体的・創造的な次世代人材の育成
- 2 異なる分野や多様な人々と協力して創造・課題解決する人材の育成
- 3 現代の社会・産業界を理解し、目標を持って取り組む人材の育成

生徒の成長のために

夢に向かって挑戦できるように

地域社会とともに

社会の課題に取り組んでいく

産業界とともに

革新的職業人材の育成に向けて

産・官・学連携のための
県教育委員会のマネジメント

まとめのまとめ

マイスター・ハイスクール普及促進事業をとおして

産業界と連携した取組
地域と連携した取組

専門的・実践的な技術の体験

地域産業や職業に対する理解
働くことに対する理解

地域を知り、地域を題材とした探究

学校と企業の対話

生きて働く知識・技術
先進的・実践的な技術の体験

生徒が自ら考え選択する未来

将来の地域を支える人材
地元を働く場所として考える生徒

相互理解（新たな求人等にも）

生徒の成長のために

夢に向かって挑戦できるように

地域社会とともに

社会の課題に取り組んでいく

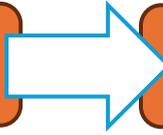
産業界とともに

革新的職業人材の育成に向けて

産学官金と一体となった人材育成は、
今後の専門教育・キャリア教育において不可欠な取組

まとめ（令和8年度以降）

マイスター・ハイスクールの理念



キャリア教育の基盤となる取組

高度で実践的な知識や技術の習得
主体的なキャリア形成・県内就職率の向上

熊本の地域産業や
その時の課題に
特化した
人材育成の取組

ネクスト・
マイスター・
ハイスクール

半導体人材
育成事業

熊本県版マイスター・ハイスクールの理念

市町村

産業界

肥後銀行

コーディネータ

一体となった人材育成

デュアルシステム

出前授業・講演会

企業見学・企業実習

インターンシップ

専門性を生かした探究活動

連携した授業・実習

今後のキャリア
教育の基盤とな
る取組み